

プロに依頼する 科学イラストの ススメ

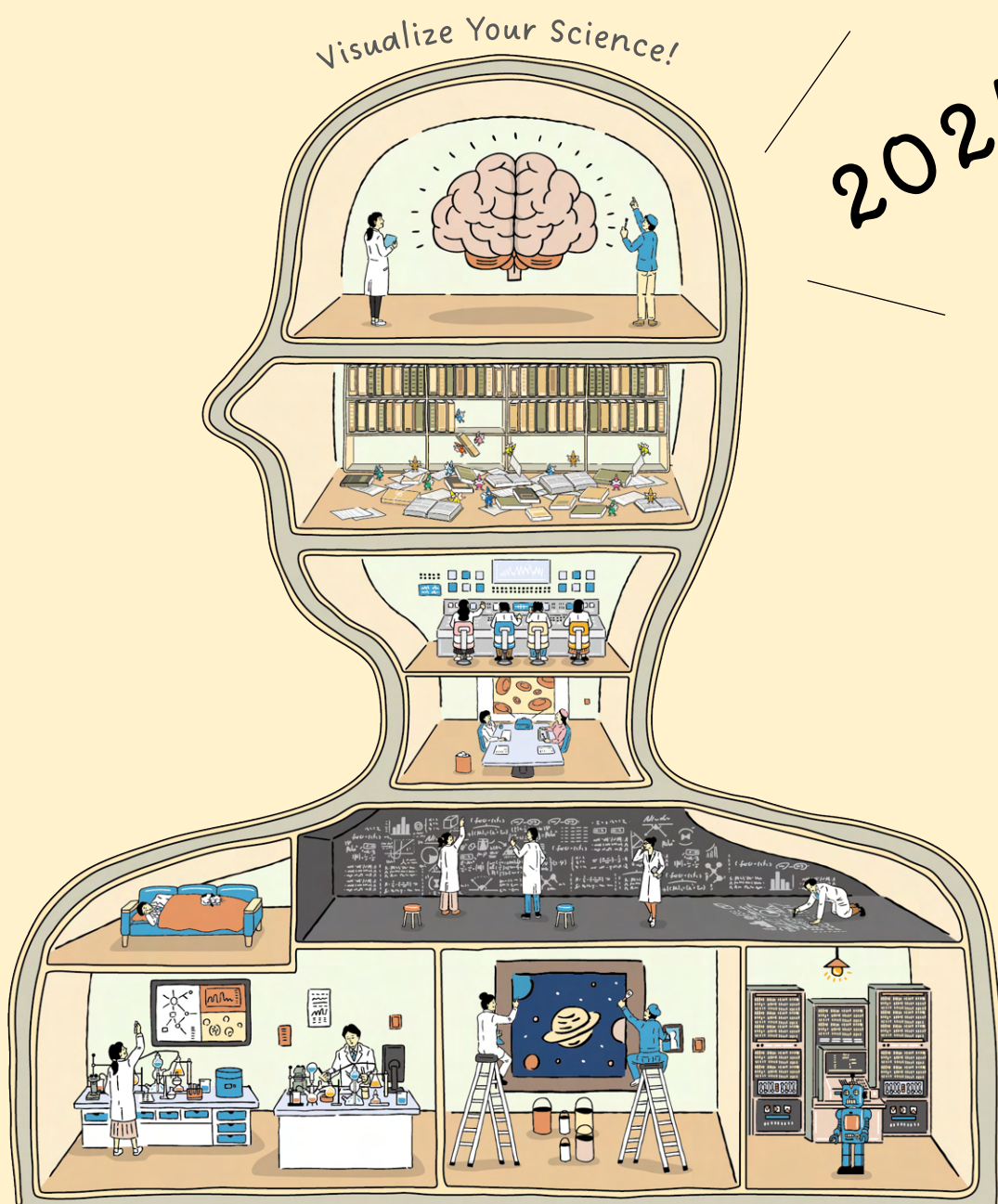


Illustration: 株式会社トライス

もくじ

はじめに	02
さまざまな科学イラスト	03
科学イラスト制作の流れ	05
イラストレーターに問い合わせる前に明確にすべき3つのポイント	06
イラストレーターへの問い合わせと資料の準備	
イラストレーターとの打合せ	07
発注	
ドラフト案の修正	
実例紹介・科学イラスト作成の流れ	08
イラストの著作権	11
【参考資料】依頼書(仕様書)一例	12
イラストレーターリスト	13
おわりに	37
図版の出典情報	38

はじめに

本パンフレットは、アカデミアの研究者が「科学イラスト」を外部の「科学イラストレーター」に発注依頼して作成する方法を簡単に紹介した冊子です。

「科学イラスト」とは、研究広報や科研費申請書などで使用される概要図のように、科学上の複雑な概念や知識を説明するための絵図を指します。アカデミアにおける学術研究を分野外の研究者や専門知識を持たない一般の読者に分かりやすく伝えるために、視覚的に理解を促す科学イラストは大変有効な表現手段となります。

「科学イラストレーター」は、科学と芸術における専門的な知識・技能をベースに科学イラストを分かりやすい説明図としてだけでなく、デザイン性や美的要素を含む魅力的な絵図として科学イラストを作成するプロのイラストレーターです。

本パンフレットの前半では、大学研究者や広報・研究支援担当者がスムーズに科学イラスト制作を進めることができるように、作成依頼する際の流れと留意すべき点について解説しています。近年、しばしば問題となる著作権の取り扱いについても触れています。

またパンフレット後半では、京都大学 高等研究院ヒト生物学研究拠点 (WPI-ASHBi) や京都大学から発注実績のあった科学イラストレーターを中心にリストとして掲載しています。得意とする研究分野や表現方法はイラストレーターによって様々ですので、参考資料としてお役立てください。

アカデミアの研究者や広報・研究支援担当者にとって、本パンフレットが「科学イラスト」を作成する際の一助となれば幸いです。



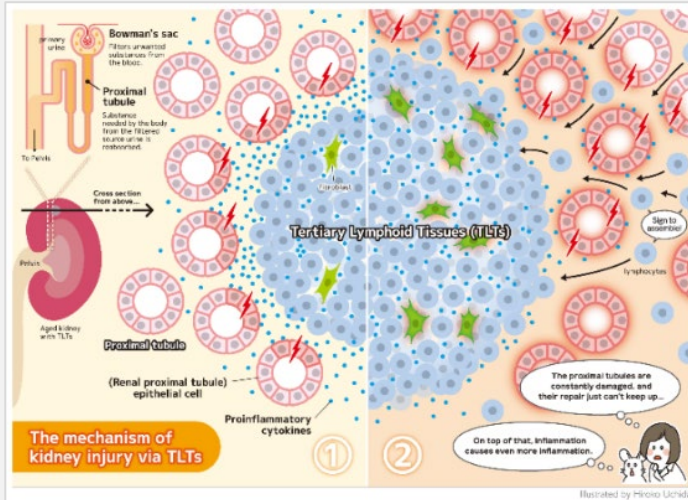
#1 Illustration: 星野ロビン

さまざまな科学イラスト

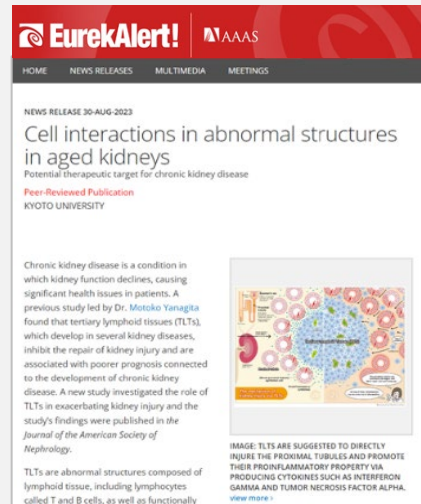
科学イラストには使用目的や読み手となる対象者によって、さまざまな種類があります。

プレスリリースにおける科学イラスト

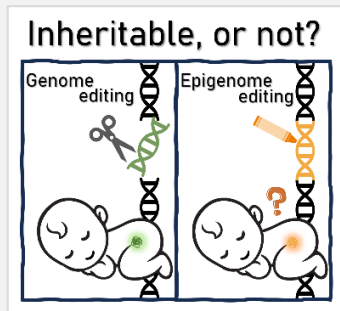
論文などの研究成果を新聞やEurekAlert!などのオンラインニュースサービスを媒体にして一般社会に広報したい場合、通常、プレスリリースを作成してメディアに流します。プレスリリースに使われる科学イラストには大きく分けて2種類あります。1つは、専門知識を持たない記者や市民に研究内容を分かりやすく伝えるための絵図で、研究上のコンセプトを説明する概念図や、論文の全体像を示す概要図などがあります。



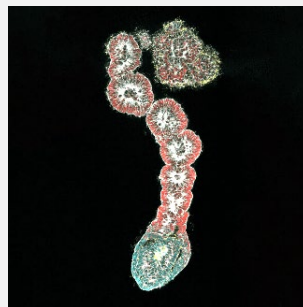
#2 Illustration: Hiroko Uchida



もう一つはサムネイルと呼ばれる小さな絵図です。具体的な説明を意図したものではありませんが、研究内容を想起させる写真や図、芸術性のあるイメージ画像などが用いられます。印象的なサムネイルを使用することによって、数多くのプレスリリースの中から記者や読者の関心を惹くことを目的としており、「アイキャッチ」とも呼ばれます。



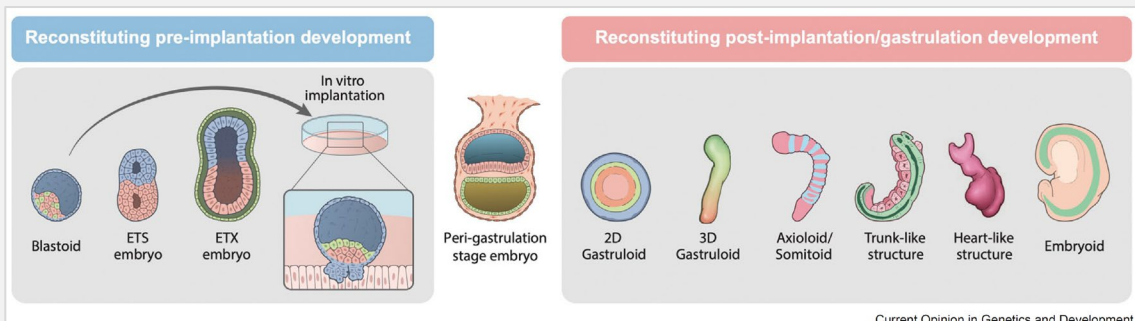
#3 Credit:ASHBI



#4 Courtesy of : C. Alev

レビュー論文やグラント申請書における科学イラスト

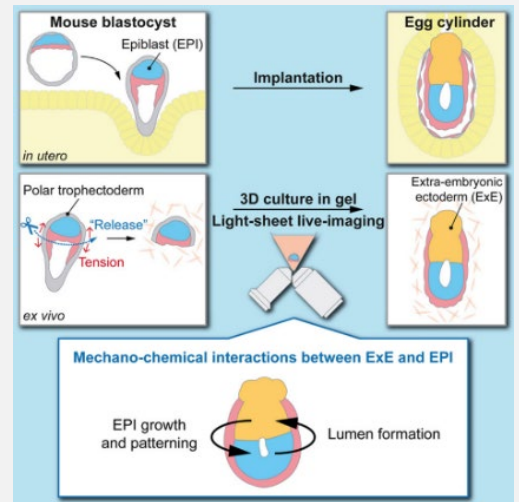
レビュー論文では読み手の中に専門知識が十分でない若手研究者や学生が含まれている可能性があり、グラント申請書では読み手となる審査委員と著者の研究分野が一致しない場合があります。そのような場合でも、視覚的理解を促す概念図や模式図を適切に説明文に含めれば、読み手の理解を容易にすることができます。



#5 Credit: Current Opinion in Genetics & Development; Illustration: 株式会社レマン

論文におけるグラフィカルアブストラクト

近年、論文が採択された際、論文の主な研究成果を視覚的に説明した**グラフィカルアブストラクト**の提出を求められることが多くなっています。文章のみのアブストラクトでは読者に伝えることが難しい内容であっても、絵図を用いた視覚的説明であれば論文の全体像や要点を読者に伝えることが容易となります。グラフィカルアブストラクトは論文本体に含まれませんが、出版社のオンライン検索では表示されるため、数多の論文の中から読者に自分の論文を読んでもらうためのきっかけとして、グラフィカルアブストラクトの重要性は年々高まっています。



#6 Credit: T. Ichikawa

その他

上述した以外にも科学イラストの利用例として、学術集会のイベントポスター、研究室ウェブサイトにおけるイメージ図、論文誌の表紙（カバーレター）などが挙げられます。いずれの場合においても、読み手の興味を喚起してコンテンツへと導く重要な役割を担います。

イベントポスター



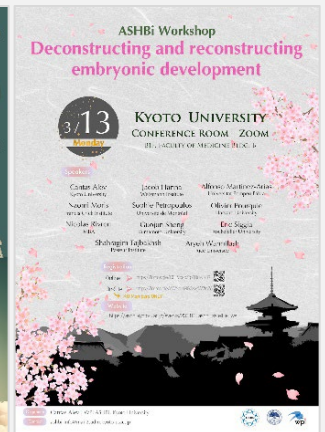
#7 Illustration: Hiroko Uchida



#8 Illustration: Kanon Tanaka



#9 Credit: ASHBI



#10 Credit: ASHBI

研究室ホームページ



#11 Courtesy of F. Inoue; Illustration: Hiroko Uchida



#12 Courtesy of K. Amemori; Illustration: Legado Cajal, Instituto Cajal (CSIC), Madrid



#13 Courtesy of: R. Yamamoto; Illustration: 森彩子

科学イラスト制作の流れ

1

3つのポイントを明確にする P.06



- ①どのような媒体・場面で使用するのか?
- ②「誰」に向けて発信するのか?
- ③どのようなメッセージを伝えたいのか?

ここの情報整理がとても重要!

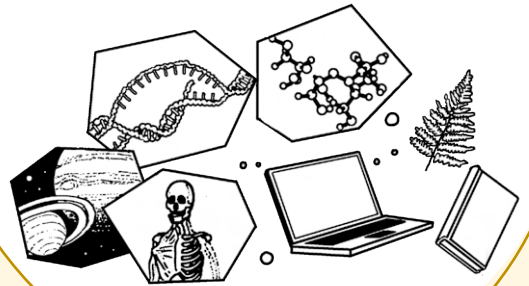
2

イラストレーターを探す P.14

イラストレーターの得意な研究分野や作風を見て選ぼう!

イラストレーターに問い合わせ、資料の準備をする P.06

この資料はイラストレーターが研究内容を理解するためにとても大切◎



3

イラストレーターと打合せする P.07



研究内容を「わかりやすく」明確に伝え、二次使用や納期などの確認を行う

イラストの方向性を決めるのは研究者自身!

イラストの著作権って、誰に帰属するの? P.11

発注する P.07

4



仕様書を作成し、P.12必ず「記録に残る形」で行う

公費使用に関しては、事務所に確認を。

5

イラストレーターによる制作と修正



ドラフトに対しては、妥協なく修正を求める P.07
ただし、本制作は微修正に留める

「打合せで伝えた内容」が表現されているか?を意識。

2週間

2週間

2か月

① 明確にすべき3つのポイント

前述したように科学イラストには様々な種類があるため、イラストレーターに依頼する際には「どのような科学イラストを作成したいのか」を明確に伝える必要があります。伝えるべき重要な情報としては、① **種類・用途**：どのような媒体・場面で使用するイラストなのか？（e.g. 論文のグラフィカルアブストラクト、プレスリリースの概要図）、② **対象者**：読み手は誰なのか？（e.g. 大学研究者、専門知識を持たない中高生）、③ **目的・メッセージ**：作成するイラストの使用目的や研究者が読み手に伝えたいメッセージ内容、等があります。

たとえば、論文アクセプト時に出版社に提出するグラフィカルアブストラクトであれば、対象者はアカデミアの研究者であり、論文の概要や要点を専門的知識をベースにして理解してもらうことが目的となります。一方、論文出版時に報道関係者向けに出すプレスリリース用の研究概要図の場合は、一般市民を対象として、専門知識を必要としない範囲で論文の要旨や学術的・社会的重要性を理解してもらうことが目的となります。

POINT

- ① **種類・用途を明確にする**： 「どのような媒体・場面」で使用するのか？
- ② **対象を明確にする**： 「誰に」向けて発信するのか？
- ③ **目的・メッセージを明確にする**： 「どのようなメッセージ、内容」を伝えたいのか？

上記以外にも、下記の事項について明確にしておく必要があります。

- 納期

イラストの種類やイラストレーターの都合にもよりますが、納品日を起点として、2~3か月前を目安に問い合わせを開始します。イラストは一度に完成するのではなく、ラフ案の作成後、数回の微修正を加えるケースが多い為、修正期間を確保した納期を設定することが大切です。（☞科学イラスト作成の流れp.8）

- イラストサイズ・カラーモード

小さい画像は大きく引き伸ばしてしまうと画像が荒くなり、イラスト画質が劣化します。そのような事態を避けるために、作成したいイラストのサイズ（e.g. X cm × X cm、A0 版ポスター）や解像度（e.g. 1,200 pixel × 1,200 pixel、サムネイル）を明確にしておきましょう。またモニター画面と印刷物では色の表現方法が異なるため、モニター上では鮮やかに見えるのに、印刷ではくすんだ色になる可能性があります。作成するイラストをモニター上で見るのか、印刷して使用するのかも明確にしておく必要があります。

② イラストレーターへの問い合わせと資料準備

上述した事項が明確になった段階でイラストレーターに問い合わせをしてみましょう。作成したい「イラストの種類・用途」を伝えて、「希望する納期」までに作成できるかということを主に確認します。

作成依頼を引き受けてもらえたら、イラスト作成に必要な情報をイラストレーターに伝えるようにします。研究概要図を作成するのであれば、イラストレーターが研究内容を理解するのに役立つ資料（論文原稿、学会発表スライド）を準備し、イラストの完成イメージを研究者が既に持っているのであれば、そのイメージをラフ画にしておきます。プレスリリース用のイラストを作成するのであれば、プレスリリース原稿も役立ちます。未発表の論文に関する資料が含まれる際には、保守義務について確認しておきます。

資料例： 研究資料（論文原稿・学会発表スライドなど）、完成イメージのラフ画、プレスリリースの原稿

③ イラストレーターとの打合せ

イラストレーターは視覚的表現のプロであり、イラスト作品を制作しますが、「どのようなイラストを作るのか？」を最終的に決めるのは研究者自身です。研究者が意図したイラスト作品が製作されるよう、通常、イラストレーターと研究者の打ち合わせ機会が持たれます。この打合せにおけるイラストレーターの理解度が、完成後のイラスト作品に大きく影響しますので、研究者は自分の意図を分かり易く明確に伝えることが必要です。例えば、研究概要図を作成する場合、1枚のイラストの中で「研究のどの部分をポイントとしてアピールしたいのか」、イラスト全体の「デザイン構成や色調」など、研究者の要望を具体的に伝えるようにします。（※ イラストレーターによっては発注後に打合せをする場合もあります）

併せて、納期、修正可能な回数、イラストの二次使用（☞ p.11）などについて双方の理解をすり合わせておきましょう。また発注する際の依頼書（仕様書）の記載内容についても確認しておきましょう（☞ p.12）。

④ 発注

すべての準備が整ったら、いよいよ発注を行います。「発注した（まだ発注していない）」といった契約トラブルを防ぐためにも、必ずメールなどの「記録に残る形」で発注を行うことが双方にとって大切です。

科学イラストの制作費用を、科研費などの公費から支払うことが出来るかどうかは各大学の事務担当者に事前に問い合わせておきましょう。その際に、イラストレーター側から提出してもらいたい書類や行っていただく必要手続きについて確認しておくといいでしょう。後々の事務処理がスムーズに行われ、イラストの納品時期に影響が出たり、支払いが遅れたりするという事態を防ぐことが出来ます。

POINT

- ✓ 発注に関わる事項は、必ず「記録に残る形」で行う
- ✓ 発注前に各所属機関の事務規定を確認する

⑤ ドラフト案の修正

発注後、イラストレーターによるドラフト（下書き）の作成が始まります。ドラフト案が送られてきたら、まずは大枠の方向性が研究者の意図通りになっているか、さらに研究者がイラストで伝えたい事項が落とし込まれているかを確認します。打ち合わせ時に確認していた内容と異なった構成や箇所がある場合は修正を依頼します。修正可能な回数はイラストレーターや金額によって異なりますが、事前打ち合わせ時に申し合わせた回数内に収まるよう、しっかりと確認しましょう。

ドラフトの確認後はイラストの本作成が始まりますが、本作成後にイラストの構成を覆す大幅な変更や修正依頼は打合せ自体からのやり直しをせざるを得なくなり、費用の変更も伴う可能性があります。トラブルの原因にもなり兼ねないので、大幅な修正が発生しないように留意する必要があります。

科学イラスト作成の流れ

科学イラストの作成過程を具体的に示すため、研究者がイラストレーターに論文のプレスリリース用概要図を作成依頼したときのフローを、実際に使用した資料や原画を用いて紹介します。

1. 参考資料の準備、科学イラストレーターとの事前打ち合わせ

研究者は、イラストレーターと事前に打ち合わせ機会を設けて、科学イラストで伝えたいコンセプトやメッセージ、イラストに含むべき視覚的要素、イラストの全体構成など、研究者が持っているイメージや要望をイラストレーターに明確に伝えて、双方の認識を一致させておくことが大切です。研究に関するスライド資料やラフスケッチなど、視覚的理解が可能な資料があれば、打合せをよりスムーズに進めることができます。

イラストレーターに共有された「参考資料」の実例

論文内容に関連した一般市民向けセミナーのスライド資料をイラストレーターに送付

1 「再生医療」といってもいろいろ

科学的に確立（安全性・有効性が証明）

科学的に未確立（安全性・有効性が未証明）

2 新しい科学技術が患者さんに届くプロセス

3 幹細胞を使ってできること

基礎研究

病態の再現、創薬、治療法の開発など

動物実験

基礎実験

研究

治療

臨床応用

細胞移植などの再生医療

病気やけがで機能不全となった組織又は臓器を再生させる医療

4 研究と治療の違い：目的

研究

未来の患者さんのために、未確立の医療の安全性や有効性を見極める行為

治療

目の前の患者さんに役立つことを第一の目的とする行為

5 研究から治療へ

研究

少人数の患者さんで安全性、多数の患者さんで有効性を何度も確認してから…

治療

安全性や有効性が科学的に証明された治療として患者さんに提供されます。

6 研究と治療の違い：実施基準

研究

研究意義に照らして、患者さんが負うリスクが妥当であること

患者リスク

研究意義

治療

患者さんが得られる利益が、リスクより上回ること

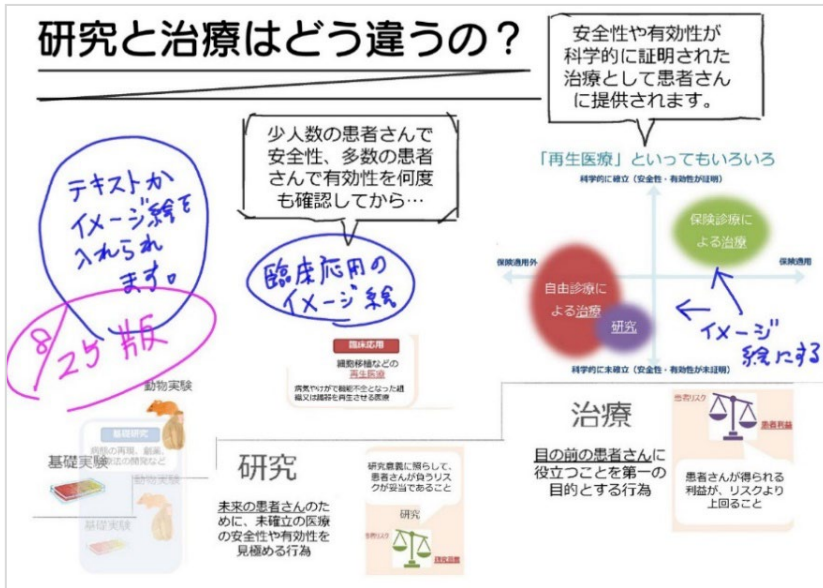
患者リスク

患者利益

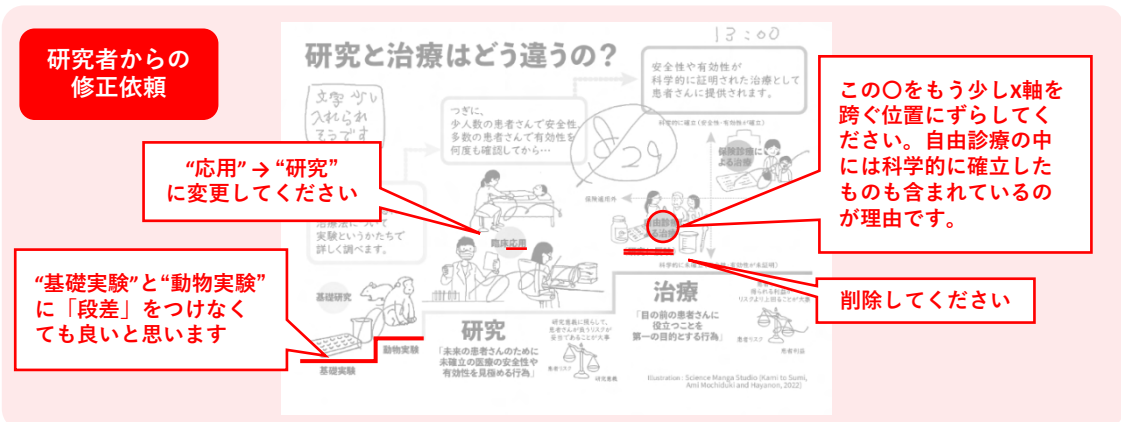
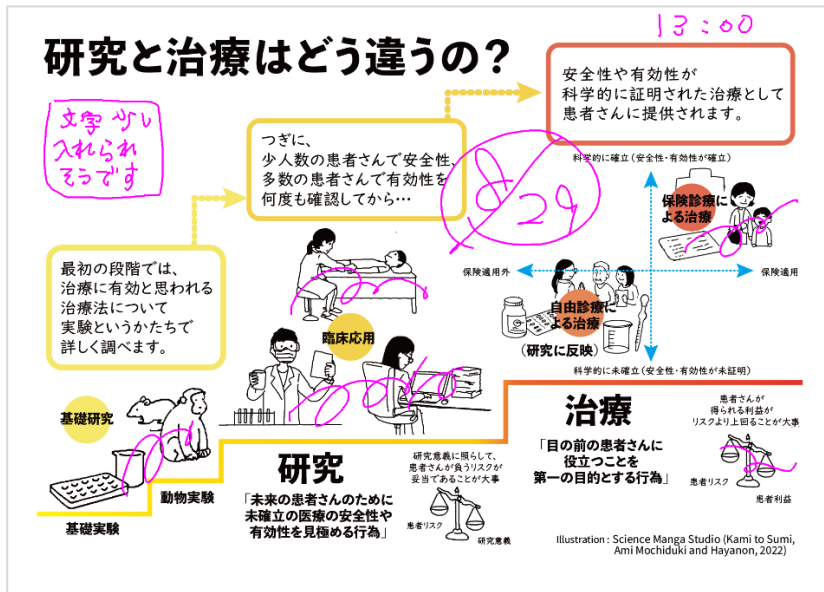
#16 Credit: M. Fujita; Illustration: 株式会社ビクト

2. ドラフト画の作成

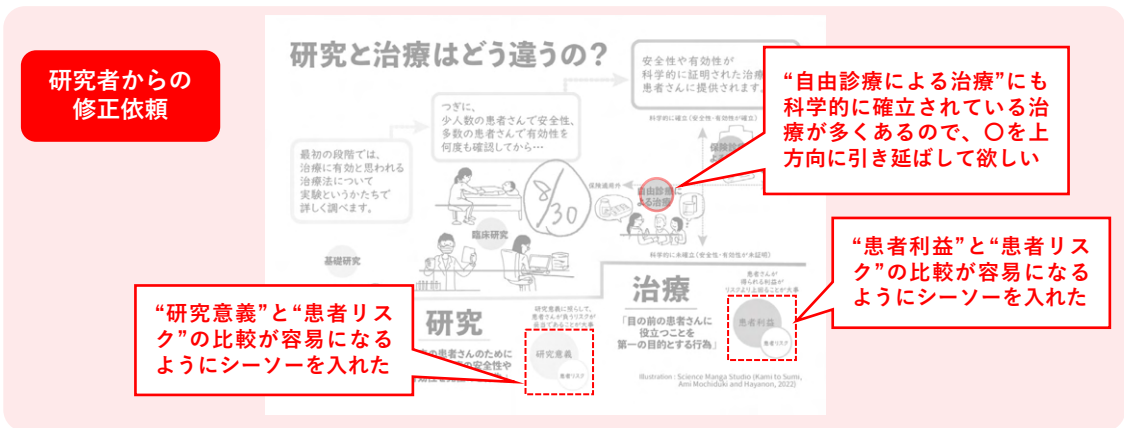
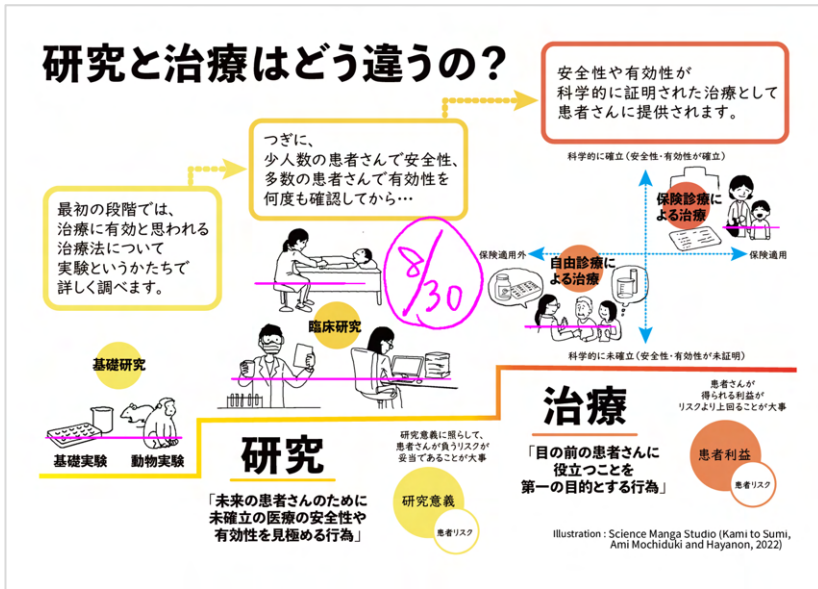
打合せの内容をもとに、科学イラストレーターによるドラフト制作が行われます。本制作での大きな修正は原則行われなため、研究者はこの時点でしっかり修正を求めることが重要です。



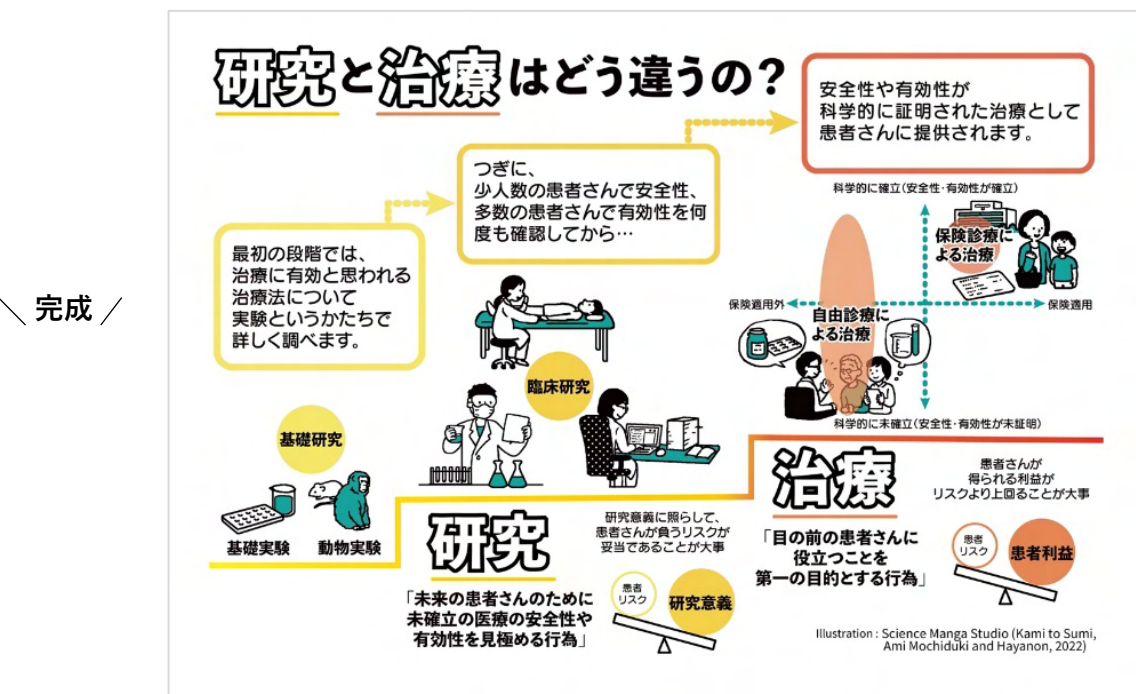
3. イラスト本制作



4. イラストの微修正



5. イラストの最終版



イラストの著作権

科学イラストレーターの著作権

著作権は制作者が保有、二次使用には要注意



イラストの著作権は、料金の支払いの有無に関わらず、それを創作した時点で自動的に制作者であるイラストレーターに付与されます。そのため、研究者などの発注者がイラストを利用する際には、契約時にその使用範囲を指定しイラストレーターと契約を交わす必要があります。私的利用など一定の場合を除いて、著作権者（イラストレーター）の許可なく、主な用途とは別の用途で使用したり、コピーしたり、他所に転載したり、販売・譲渡するといった二次使用をすることはできません。著作権上のトラブルを避けるために、発注・契約前に、イラストレーターとの間で著作権の帰属先・イラストの使用範囲・クレジット表記などについて十分協議し文章化しておくことが良いでしょう。

(参照：文化庁 著作権テキスト

(<https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/seidokaisetsu/index.html>)

ジャーナルの規定

論文に係る図の著作権と使用範囲を要確認



論文がジャーナルに掲載されたとき、論文に係るすべての画像等の使用範囲はそのジャーナルの規定に従うことになります。そのため、論文に掲載されているイメージイラスト、グラフィカルアブストラクト等の二次使用に関しては十分な注意が必要です。本来はプレスリリース用に作成したイメージイラストであったとしても、ジャーナルに掲載された場合にはプレスリリースに使用が出来なくなるということも起こり得ます。論文採択時のメールや、各ジャーナルのウェブサイトなどを確認し、使用範囲や著作権に関する規定を確認するようにしておくことが良いでしょう。

著作権に関しては、近年、ジャーナルがクリエイティブ・コモンズ・ライセンスが採用されることも増えています。イラストの著作権をジャーナルへ譲渡するといった規定を設けるジャーナルもあるので、イラストレーターに共有し適切な契約を行うことが大切です。

二次的著作物

原作に変更を加え創作した著作物を「二次的著作物」と呼び、その権利は著作者であるイラストレーターが専有しています。そのため、翻訳・改変・加工などの二次的著作物を制作する際には必ず著作者の了解を得ることが必要となります。複数言語でのイラスト作成が必要な場合やイラストの一部を使用する場合・改変する予定がある場合などには、あらかじめイラストレーターに依頼し、適切な契約を結べるように準備しておきましょう。

【コラム】クリエイティブ・コモンズ・ライセンスとは？

～著作権範囲の意思表示ツールであり、近年はジャーナルも採用が増えている～

クリエイティブ・コモンズ・ライセンス(CCライセンス)とは、科学イラストレーターなど作品を公開する作者が著作権の範囲の意思表示をするためのツールです。

近年、ジャーナル誌でもCCライセンスが採用されることが増え、科学イラストの著作権譲渡が前提となっている案件が増えています。科学イラストをジャーナルに提供する際は、科学イラストレーターと著作権について確認することが重要となります。

詳しくは、下記のCC公式ウェブページをご覧ください。

(参照：<https://creativecommons.jp/licenses/>

<https://creativecommons.org/share-your-work/cclicenses/>)



アイコン：6種のCCライセンス

2023/XX/XX

ASHBi Research Acceleration unit

『イラスト制作依頼に係る仕様書』

業務名

京都大学高等研究院 ヒト生物学高等研究拠点
研究成果発信のための概要図の制作

納品について

納期：2023年 xx月 xx日

納期

納品形式：デジタル

イラストの様式

数量： 1点

カラー形式： ウェブ対応カラー (CMYK)

サイズ： 概要図 A5 サイズ

サイズの指定

提供資料一覧

参考図 (PDF)

未発表の論文に関する情報を送付する際には取り扱いについて触れる

猿のイラスト

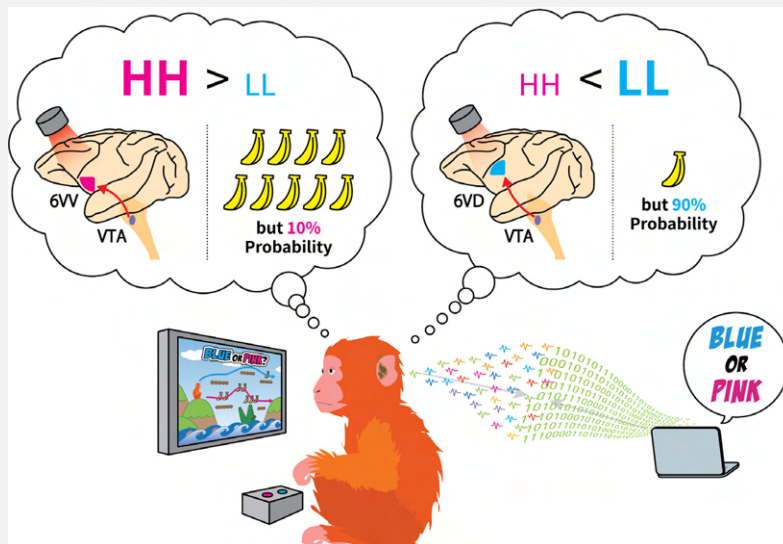
プレスリリース原稿 (取扱注意)

使用の範囲

プレスリリース・ウェブサイト・学会等での発表

ASHBi Research Acceleration Unit 事例紹介

二次使用を含む使用範囲を明記



#15 Illustration: 株式会社トライス

【コラム】効果的な情報整理と図解化のために

イラスト作成のための情報整理と図解化について、京都大学高等研究院ヒト生物学高等研究拠点（WPI-ASHBi）は過去に若手研究者向けセミナー「Visualizing your research - 伝える研究計画書・論文の概要図を作るための思考整理」を開催しています。本セミナー資料はダウンロードが可能ですので、ご活用ください。



イラストレーターリスト

March 2024

Illustrator List

リストは五十音順に掲載しています。

- P15 いずもり・よう
- P16 ウチダヒロコ
- P17 漆畑 ドゥイチ イヴァナ
- P18 大内田美沙紀
- P19 木下真一郎
- P20 きのしたちひろ
- P21 佐藤良孝（有限会社 彩考）
- P22 武重隆之介
- P23 田中花音（京都大学大学院地球環境学舎）
- P24 辻野貴志（サイエンス・グラフィックス株式会社）
- P25 株式会社トライス
- P26 長澤奈都召（株式会社スペースタイム）
- P27 榎木佑佳（株式会社スペースタイム）
- P28 株式会社ハイドロコア
- P29 橋本明日菜（株式会社スペースタイム）
- P30 はやのん（理系漫画制作室）
- P31 ぱり（理系漫画制作室）
- P32 比留川治子（国立情報学研究所）
- P33 星野ロビン
- P34 宮崎夏子（株式会社スペースタイム）
- P35 株式会社ヤップ
- P36 株式会社レーマン

※京都大学WPI-ASHBiおよび京都大学で実績のあるイラストレーター、またはその方々による紹介を中心に掲載しています。
※京都大学WPI-ASHBiは契約に係るトラブル等の責任は一切負いません。取引内容や詳細については各機関（個人）の責任において行ってください。
※作品により納期・金額等は変動します（イラストはオーダーメイド品です）。

イラストレーターの皆様へ

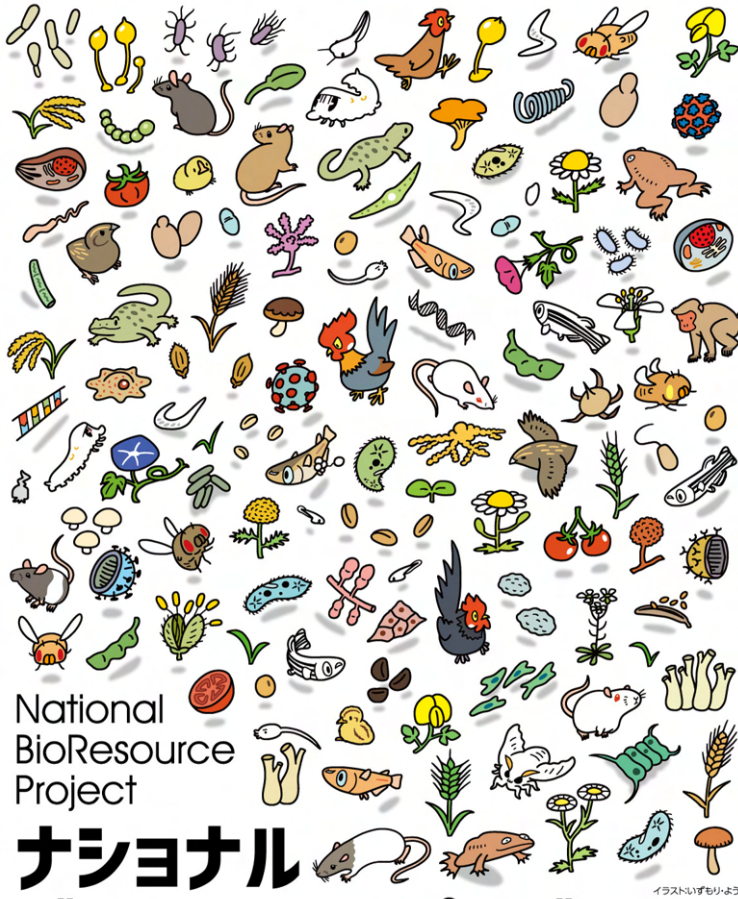
※本冊子への掲載希望の際はASHBi Research Acceleration Unitへご連絡ください（掲載保証は致しかねます）。
ASHBi-info[at]mail2.adm.kyoto-u.ac.jp



いずもり・よう

信州大学理学部生物学科卒業。出版社勤務を経て2004年よりフリーのイラストレーター。生き物の特徴を捉えたデフォルメイラストを得意とし、研究内容を咀嚼しシンプルな図版に出力することでキャッチからエッセンスの伝達までをワンストップで行えるため、用途は絵本・図鑑から専門書・論文などの出版分野に加えてポスターやプレスリリース、個人のアウトリーチにいたるまで多岐にわたっている。4コマ漫画にも対応可能。近年のアカデミア関連実績はナショナルバイオリソースプロジェクトのポスター（添付画像）、高エネルギー加速器研究機構・放射光実験施設（フォトンファクトリー）の内部紹介イラストなど。博物館の展示関連も多数。

参考納期 応相談（参考：2週間～2カ月）
参考費用 応相談（参考：A5カラー1点5万円～10万円）
Website <https://yohizumori.jimdofree.com/>
S N S X(Twitter) : @yizumori
連絡先 yizumori@gmail.com
言語 日本語、英語（英語はメールのみ）



National
BioResource
Project

ナショナル バイオリソースプロジェクト

イラストいずもり・よう



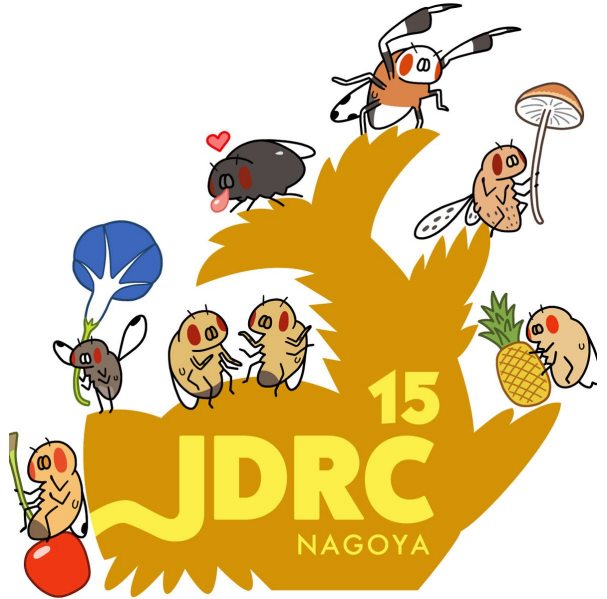
文部科学省

お問い合わせ: NBRP広報室
nbrp-pr@nig.ac.jp

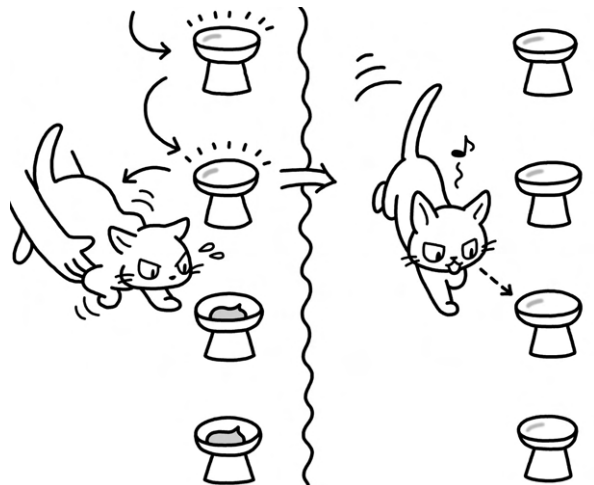
本プロジェクトや各リソースの
情報はウェブサイトをご覧ください。
<http://nbrp.jp/>



ナショナルバイオリソースプロジェクト・ポスター
ほかにクリアファイル、テーブルクロスにも流用



第15回日本ショウジョウバエ研究集会ロゴ



『知りたい！ネコごころ』
（岩波科学ライブラリー）挿絵

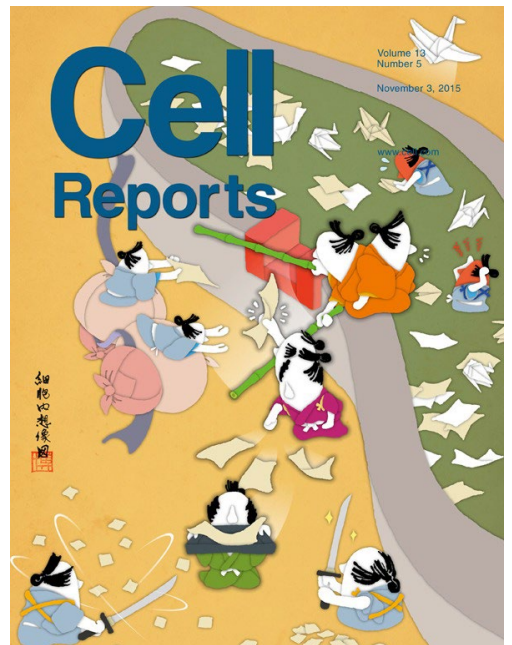
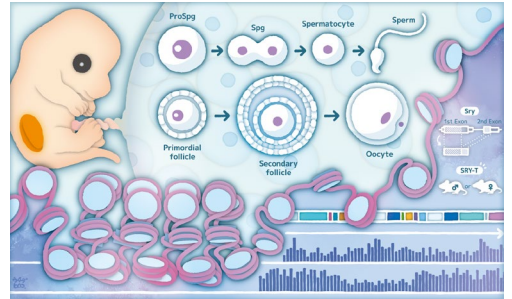
（イラスト：いずもり・よう）



奈良女子大学理学部生物科学科で生命現象の基礎を学んだあと、印刷会社勤務を経て、15年ほど臨海実験所の技術補佐員とイラストレーターの“二足の草鞋”を履く（現在は専業に）。墨汁の線をはじめとする複数の筆致とカラフルな明るい色調が持ち味で、生物学の専門知識を活かした細胞や生体分子の描写に定評がある。小・中・高の検定教科書、大学のプレスリリース、論文のGraphical abstract、博物館の展示パネルなど、様々な媒体にイラストを提供。学会や研究会等のポスターデザインも好評で、2022年の分子生物学会年会では、メインビジュアルから各種グッズデザインまで幅広く担当した。論文誌への表紙掲載も多く、現在の戦績は59戦25勝24敗。なお、描くジャンルは科学に限らず、小説の単行本カバーや挿画も手掛けている。

参考納期 3週間~3ヶ月 ※応相談
参考費用 プレスリリース：8万~13万円
 告知ポスター：18万~30万円
 ジャーナル表紙：7万円~
 ※いずれも税別価格

Website <http://uchidairoko.com/>
S N S X: @ucchy_v4
連絡先 me@uchidairoko.com
 日本語、英語（メールのみ）






うるしばた

漆畑 ドウイチ イヴァナ

(生命科学博士)

私は京都大学大学院生命科学研究所の自然免疫学と細胞免疫学専攻で博士号を取得しています。様々な経験の中で、科学とアートを結ぶ橋渡しをしたいと考えようになりました。単純なイラストから3D分子イメージングまで、用途に応じた科学イラストを描くことができます。また、研究室やオフィス、家庭の中に飾ることができるような科学をテーマにした商品も制作しています。京都大学のホームページにも私の科学イラストが掲載されたこともあります。現在は京都でRNAを利用した創薬研究を行っております。また、日本メディカルイラスト学会 (JSMi) の会員でもあります。もしご連絡を頂けたら、精一杯魅力的なイラストを作成します。

免疫学

生命科学

医学

参考納期 応相談 (1-週間~1ヶ月)

参考費用 応相談 (プレスリリース図などの一枚 15,000~50,000 円 ; 他のデザインの価格はプロジェクトの規模と複雑さによって異なります)

S N S X: @IvanaDuic , Instagram: @idustrate

連絡先 ivanaduich@gmail.com
duic.ivana.87n@kyoto-u.jp

言語 英語, 日本語: 電子メールのみ

WORKFLOW

STEP 1. CONTACT

お気軽にご連絡ください。
研究内容とイラストのスタイルについて
お伺いします。



STEP 2. BRAINSTORMING

スケッチ案を作成します!



STEP 3. DISCUSSION

スケッチ案に対するご意見をお伺いします。



STEP 4. PRODUCTION

全力をつくして細部まで描きます。



STEP 5. DISCUSSION

最終的な変更やリクエストを
お伺いします。

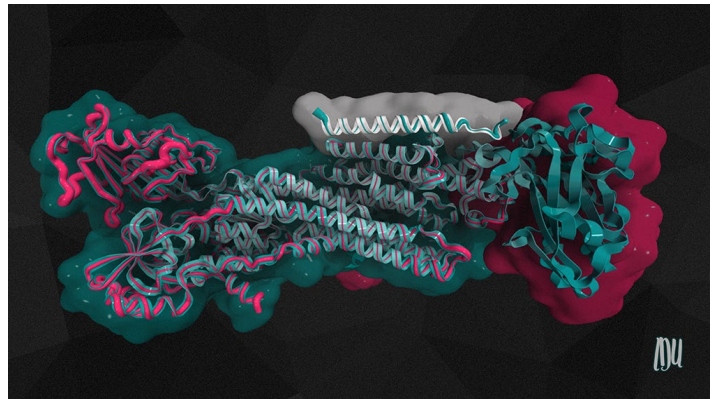
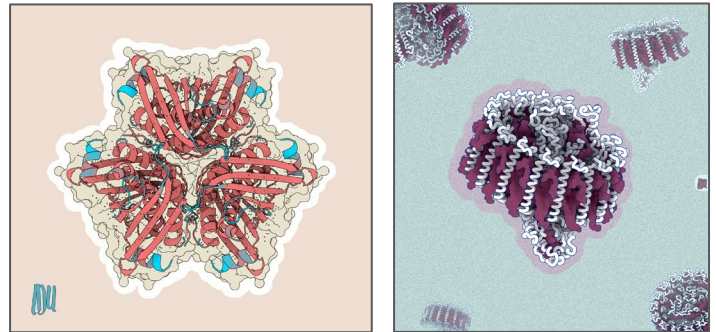


STEP 6. DONE!

ご希望の形式とサイズのイラスト
をお届けします。



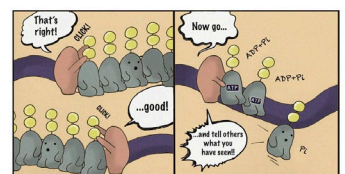
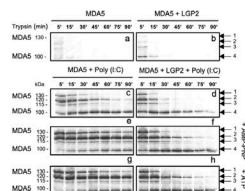
タンパク質ステッカー及び壁面装飾用の科学アート:



研究ノートに貼れるステッカーと研究室用マグネット:



出版された論文のイラスト:





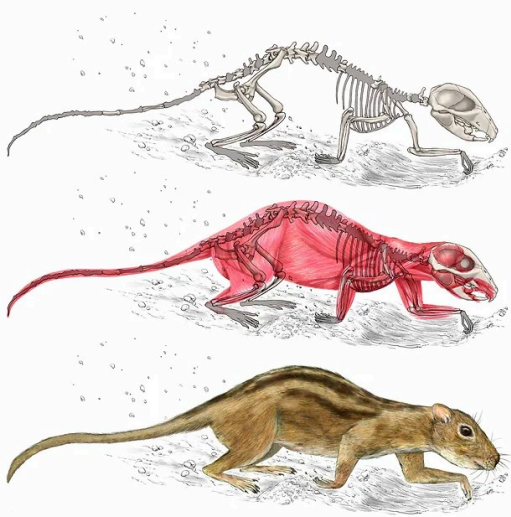
おおうちだ みさき
大内田 美沙紀
 (北海道大学CoSTEP)



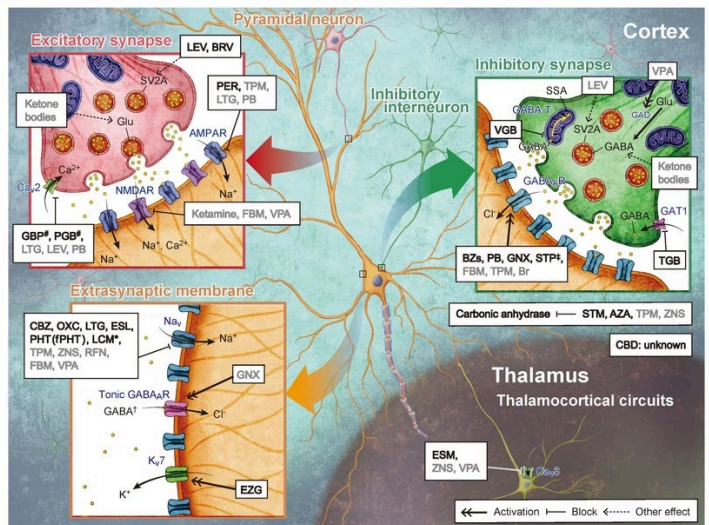
- 物理学 昆虫学 魚類学 鳥類学
- 人類学 解剖学 古生物学
- 神経科学 生命科学

サイエンスイラストレーター、博士(理学)。北海道大学CoSTEP特任助教。2010年に渡米し、ワシントン大学にてサイエンスイラストレーションを習得。コーネル大学鳥類学研究所やスミソニアン自然史博物館で経験を積み、2016年に帰国。サイエンス・コミュニケーター/イラストレーターとして京都大学IPS細胞研究所にて約5年半勤務後、2022年より現職に至る。これまで多岐に渡る分野のサイエンスイラストレーションを用途によってスタイルを変えながら制作してきました。現職ではビジュアルを使ったサイエンスコミュニケーションを教育・実践しています。個人の実践活動の一つとして外部依頼をお受けすることも可能ですので一度ホームページよりご相談下さい。

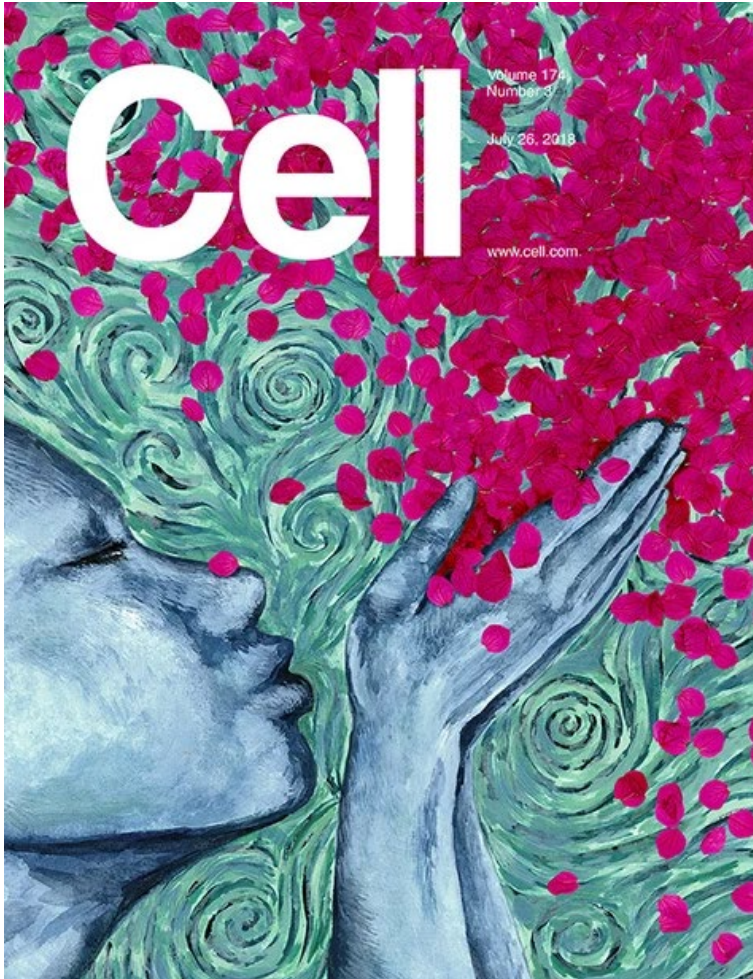
参考納期 要相談
 参考費用 要相談
 Website <https://www.misakiouchida.com/>
 連絡先 上記ウェブサイトのコンタクトフォームより
 言語 日本語、英語



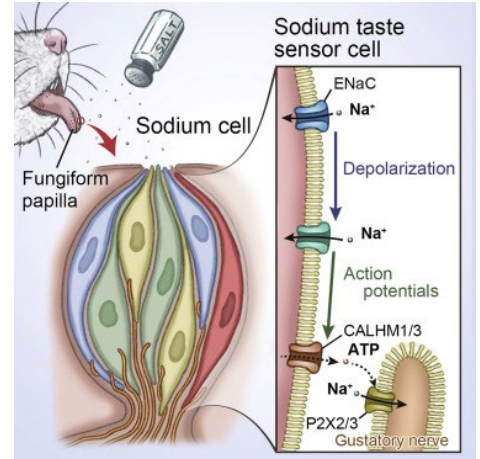
[Nature Ecology & Evolution 5, 32-37 \(2021\)](#)



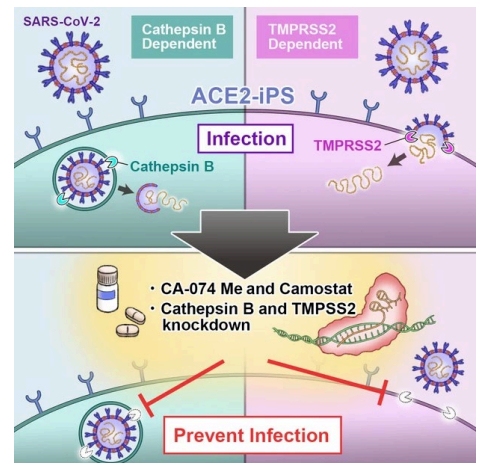
[Brain Development 42;1, 2-5 \(2020\)](#)



[Cell 174;3 499-770 \(2018\)](#)



[Neuron 106;5 816-829.E6 \(2020\)](#)



[Molecular Therapy Nucleic Acids 26, 1107-1114 \(2021\)](#)



木下 真一郎



Kinoshita Design Office

科学雑誌『Newton』のイラストをはじめ、宇宙・気象・環境・医療・鳥瞰図などのリアルイラストを中心に制作。全国の大学及び研究機関の科学イラスト他、図鑑・科学書籍・教科書・絵本など多数の作品を制作しています。お打ち合わせは、メールまたは電話、オンラインでさせていただき、ラフ案からイラスト完成まで責任を持って対応いたします。またお問い合わせいただいた研究者様には、参考資料としてWebsiteのギャラリー作品他、数百点の作品を掲載したPDF作品集をお送りします。納期及び費用などと併せ、お気軽にご相談ください。
(所在地：千葉県柏市)

参考納期 1週間～「応相談」
 参考費用 5万円～「応相談」
 Website <https://kinoshita-design.com/>
 連絡先 info_k023@kinoshita-design.com
 言語 日本語





きのした ちひろ
木下 千尋
(農学博士 / イラストレーター)



生態学

生物学

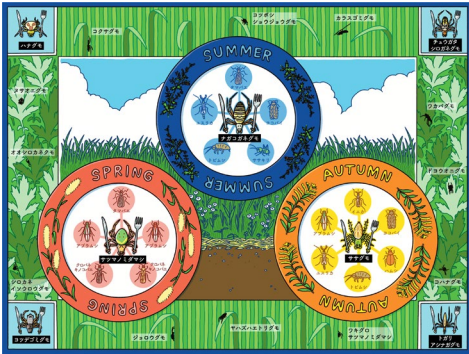
海洋学

東京大学大学院農学生命科学研究科で学位を取得後、日本学術振興会特別研究員PDを経て独立。専門は海の動物の行動生態学と潜水生理学ですが、この分野にとどまらず研究内容をイラストで楽しく解説する活動をしています。科学論文のプレスリリース用イラストや論文内の図表の他、書籍（専門書・一般書・絵本）向けのイラストも多数制作。また、研究機関のノベルティ作成や、国内・国際学会のポスターやロゴマーク作成も行っています。

参考納期 2週間~数ヶ月程度
参考費用 10~20万円程度 (調整可)
Website lunlundi.com
SNS @chimomonga (X, instagram)
連絡先 chichiro.kinoshita@gmail.com
言語 日本語、英語

近年の主な制作実績

- プレスリリース用イラスト、グラフィカルアブストラクトなど



プレスリリース用イラスト (京都大学)
Suzuki et al., (2023) Nat. Ecol. Evol.



プレスリリース用イラスト (神戸大学)
Iwata et al., (2023) Ethology

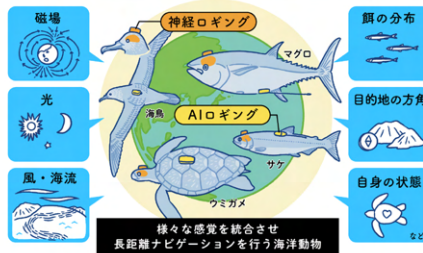


京都大学附属病院
先端医療研究開発機構
クリアファイル

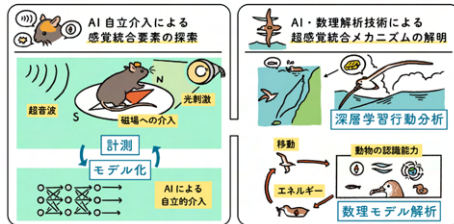


海洋生物のイラスト

AI・神経ロギング技術を活用し
多様な海洋生物から生態学を学ぶ



株式会社tayo Web内イラスト



研究内容のGraphical Abstract (CREST)



京都大学
東南アジア地域研究研究所 要覧表紙
2022/2023

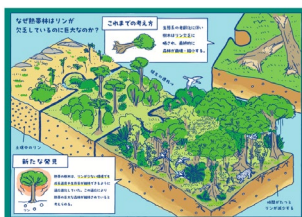
仕事の主な流れ

できる限り取材や資料収集を行い、原著論文や関連論文を読み込みます。

1. 打ち合わせ
2. ラフ作成

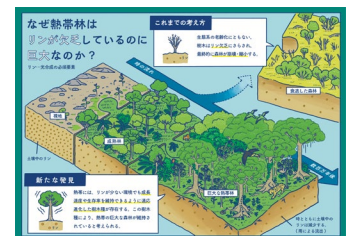
イラストの方向性やご予算、スケジュールのすり合わせを行います。

ご依頼内容を元にラフを作成します。ラフをたたき台に方向性を再検討します。



3. 清書
4. 納品

細部を調整します。修正限度は設けず、細かい部分まで検討します。



Aoyagi et al., (2023) Proc. Royal Soc. B

作業環境: Photoshop、Illustrator、Procreate

(イラスト: きのしたちひろ)



さとう よしたか
佐藤 良孝
 (有限会社 彩考)



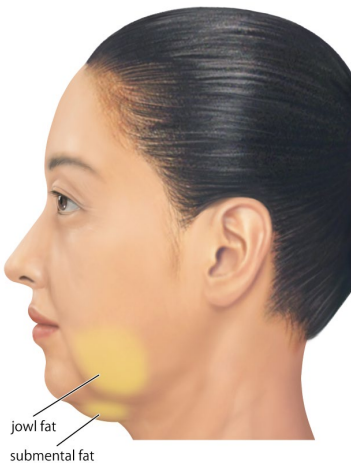
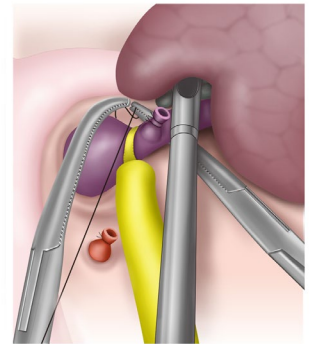
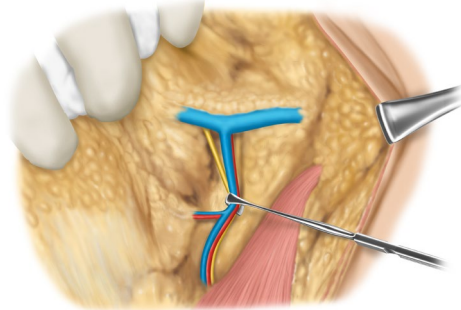
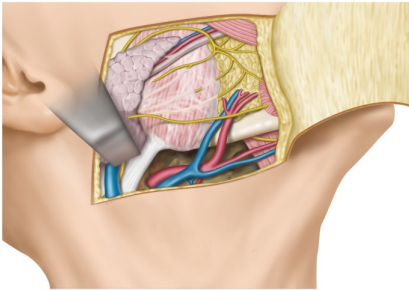
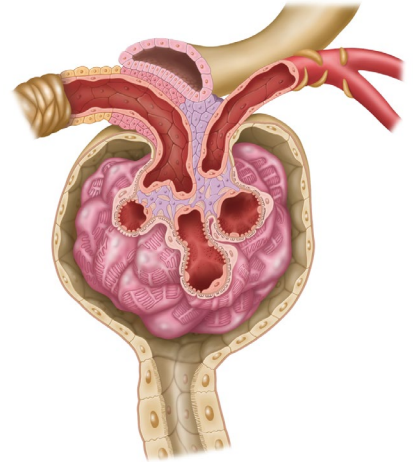
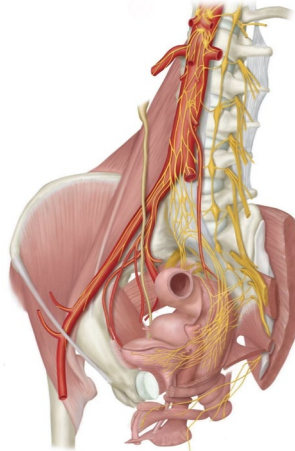
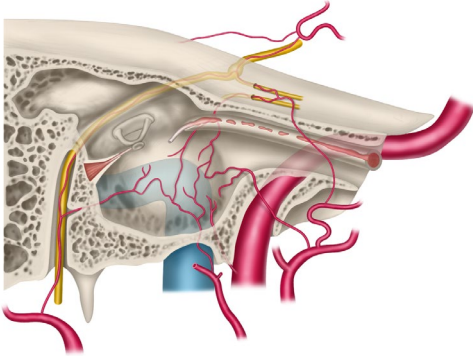
医学

解剖学

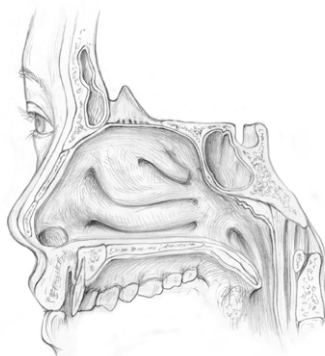
組織学

1990年制作会社彩考を創業。医学イラストレーション制作に30年の実績をもつ。日本メディカルイラストレーション学会会員(副会長、集会長を歴任)、AMI(米国)会員、美術解剖学会会員、日本美術解剖学会会員。著書に『体表から構造がわかる人体資料集』などがある。投稿論文に掲載する高品質なイラストの依頼が多く、分野は脳神経外科、整形外科、泌尿器外科、循環器外科、美容皮膚科、眼科などを中心に、解剖、手術手技、病態などの図版を制作。弊社サイトの依頼フォームよりご依頼内容を送信頂ければ、作例、お見積りや納期をご連絡します。また、必要に応じてwebミーティングや直接お会いしてのご相談にも応じています。

参考納期 2週間~2ヶ月
参考費用 3万円~10万円/1点(最多価格帯)
Website <https://www.saikou-i.co.jp/>
連絡先 y_sato@saikou-i.co.jp
言語 日本語



jowl fat
 submental fat





たけしげ りゅうのすけ

武重 隆之介

天文学

日本では数少ない天文学メインのサインスイラストレーターとして従事している。

代表的なイラスト掲載論文誌は以下の通り。

Science / Nature / Nature Astronomy / Nature Communications / The Astrophysical Journal などがある。

主な取引実績のある機関はYale University Press/JAXA/国立天文台/東京大学/京都大学/九州大学/金沢大学/大阪公立大学

参考納期 1~2ヶ月

参考費用 8~24万円

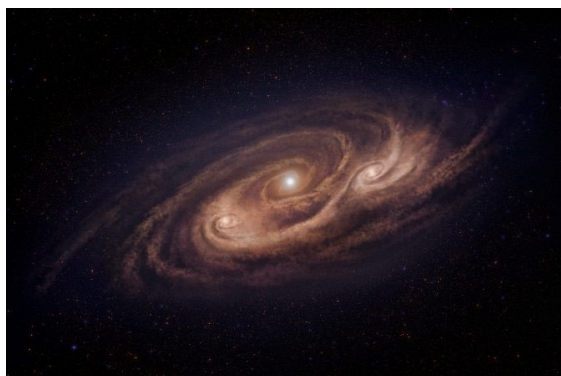
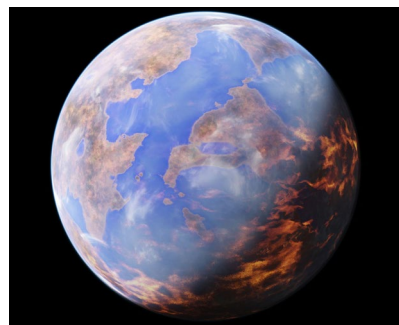
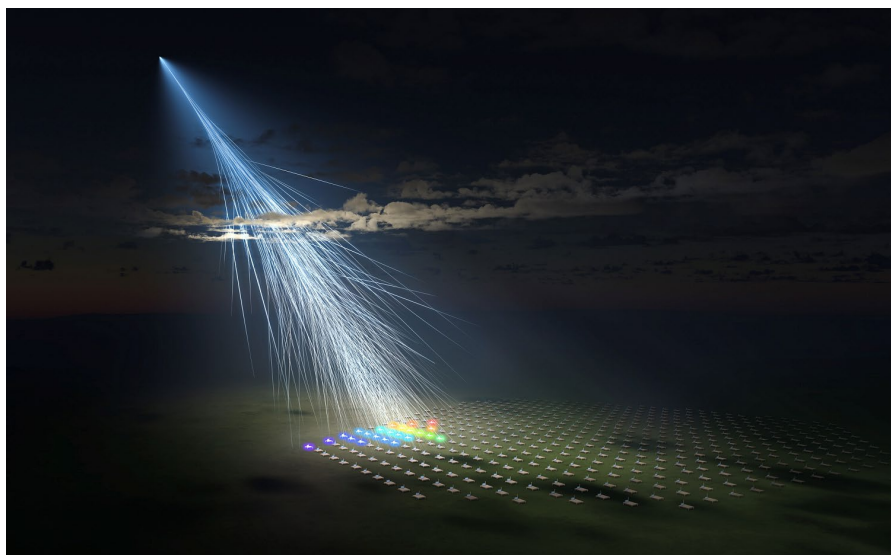
Website <https://www.artstation.com/A4sizeCG>

S N S <https://twitter.com/A4sizeCG>

連絡先 a4size.3dcg@gmail.com

言語 日本語

イラスト発注は納品後に追加修正対応が出来るようプレスリリースまで1~2ヶ月程度期間があると幸いです。





たなか かのん
田中 花音

(京都大学大学院地球環境学舎)



京都大学で学部、大学院と生物学を専門に学びながら研究に関連する様々なイラストやデザインを手掛けてきました。フランスでのイラストのインターン経験があるほか、国際植物画コンペでの受賞もしています。国際学術誌のカバーアートにもイラストが採用されてきました。プレスリリース図のほか、Webサイトの制作など幅広く手掛けています。

Zoomなどを用いたオンラインでの打ち合わせのほか、京都近郊にお住まいの場合は対面での打ち合わせも可能です。お気軽にお問い合わせください。

生物学

医学

化学

参考納期 2, 3週間～ (応相談)

参考費用 プレスリリース図などの一枚絵20,000~50,000円
1個体、1キャラクターにつき5,000円~10,000円
オリジナルWeb サイト月額3,000円~7,000円
(月額以外の対応もあります)

パンフレットなどのデザインは1ページにつき5,000円~10,000円

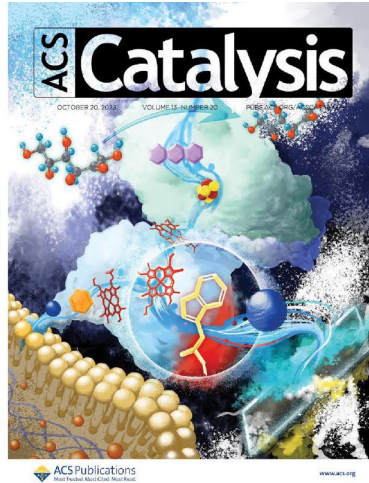
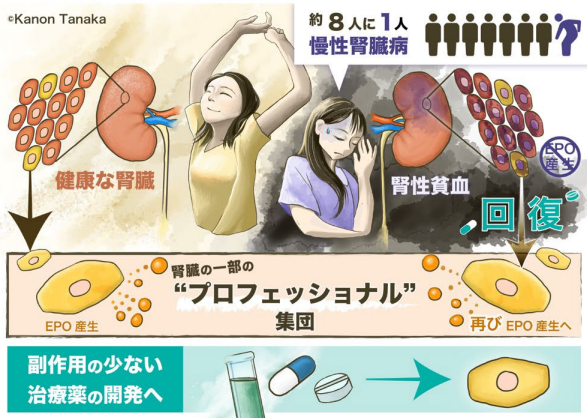
Website <https://www.kanontanaka-illustration-webdesign-science.com/>

S N S Instagram: ramen.umauma0216_

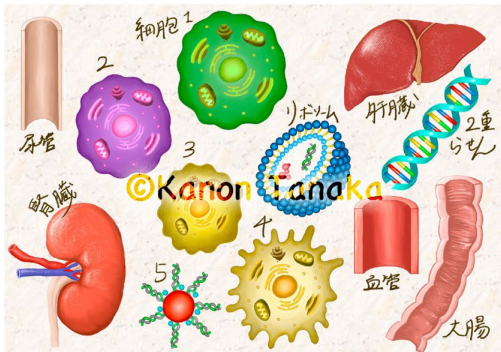
X: @canon_ofuton

連絡先 info@kanontanaka-illustration-webdesign-science.com

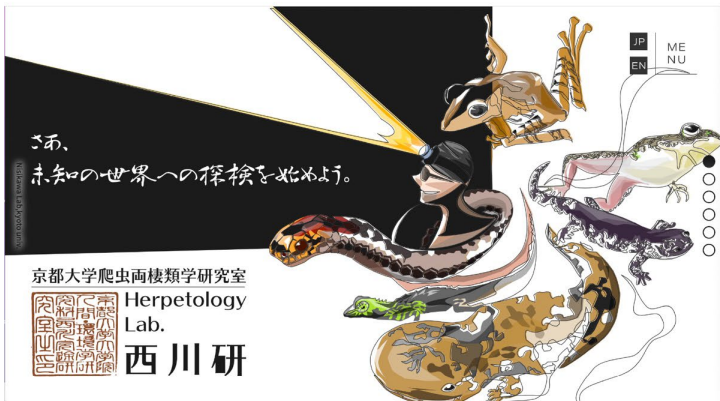
言語 日本語、英語



プレスリリース図などの一枚絵 20,000~50,000円



1個体、1キャラクターにつき5,000~10,000円



以下は2ページ見開きパンフレット



Web サイト月額 3,000~7,000円 (月額以外もあり)

冊子デザイン 1ページ 5,000~10,000円

つじの たかし

辻野 貴志

サイエンス・グラフィックス株式会社

Nature、Science、JACS、Cell、Angewandte Chimeといったジャーナルの表紙を飾るカバーピクチャーの作成サービスを提供しています。

2005年よりスタートしたカバーピクチャー作成サービスは、大学研究機関の研究者の方にご支持いただき、採択のご連絡も多数いただいております。

ご依頼は論文のサマリーやスキーム図などをご提供頂きます。また、イラストの構想をすでにお持ちの場合は、メールで頂いた資料から1週間から10日程で初案を提出いたします。通常は1、2回、最大3回まで内容の追加や修正を行うことができます。修正には約1日必要ですので、締め切りと合わせて上手にご利用ください。オンラインでのお打ち合わせも可能です。

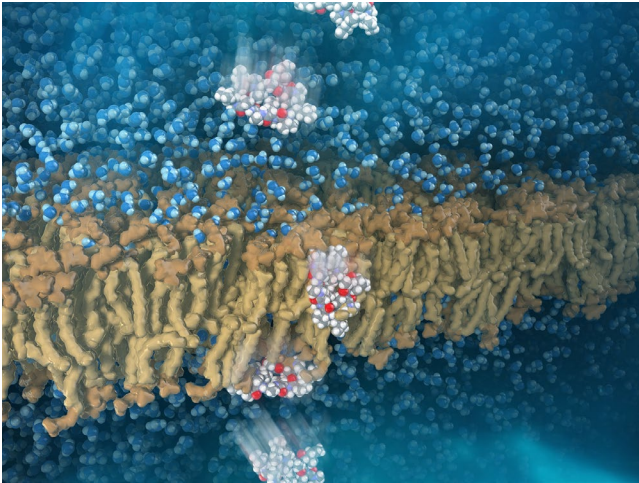
参考納期 約1週間～10日程（締切日などある場合 応相談）

参考費用 科学技術CGイラスト全般 3万円～(複数ご依頼の際は応相談)/カバーピクチャー 5万円～(複数ご依頼の際は応相談)

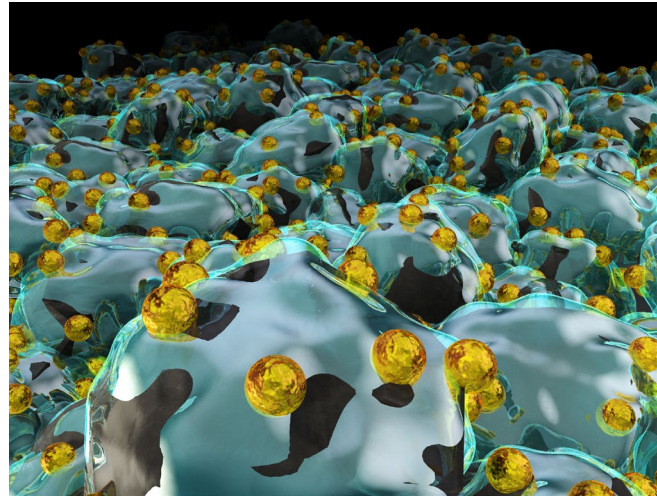
Website <https://www.s-graphics.co.jp/>

連絡先 info@s-graphics.co.jp

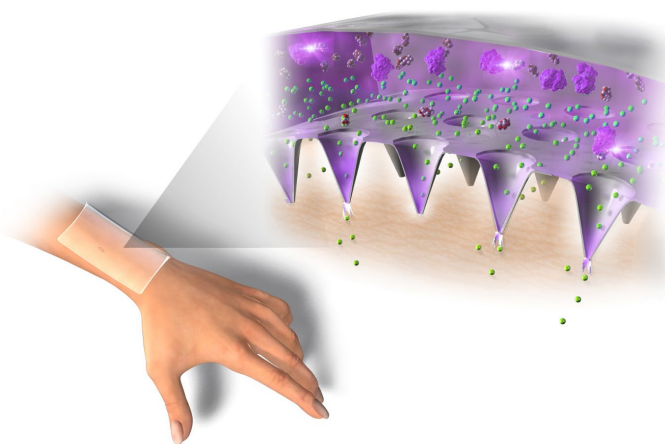
言語 日本語、英語



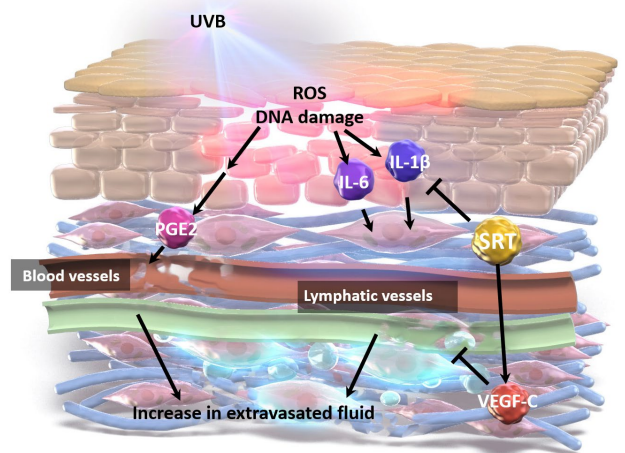
(左) シミュレーションから抽出した定性的な情報



(右) 電極の三相界面を定性的に描いた図



(左) マイクロニードルを用いた薬剤成分の徐放システムの仕組みのイラスト。



(右) 紫外線照射による、真皮での血管・リンパ管の障害に関する作用機序のイラスト



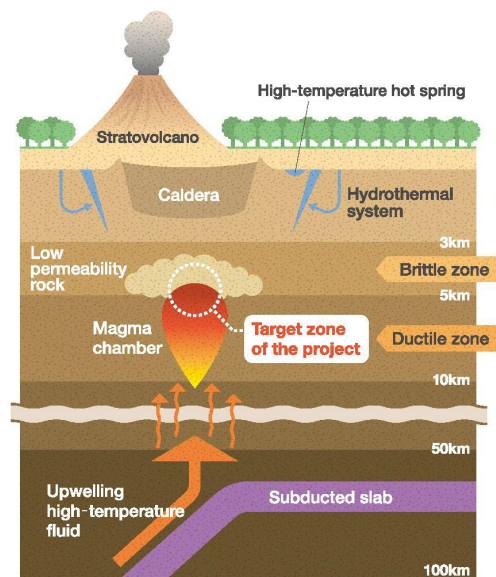
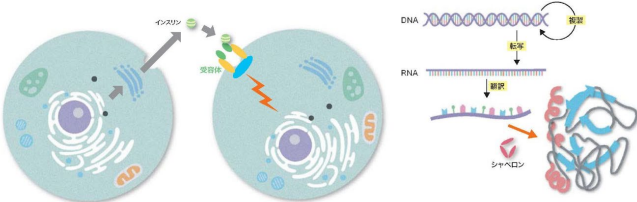
弊社は大学や研究機関様と数多くの取引実績がある制作会社で、研究・学術広報支援事業部は、大学、研究機関を専門に支援する部門として京都を拠点に活動しています。研究者の気持ちに寄り添えるデザイン会社として、正確かつ魅力的な広報ツール作成を目指しております。
イラストだけでなく、Webサイト、印刷物までトータルでのお手伝いが可能です。
※科研費プロジェクトも多くの実績がございます。
※日本分子生物学会誌『Genes to Cells』カバーを作成しています。

参考納期 3週間～
参考費用 5万円～作画内容によりますので、お気軽にご相談ください。

Website <https://trais.co.jp/top-2-2/kyoto/>
<https://trais.co.jp/kaken>

S N S <https://www.facebook.com/trais.kyoto>
連絡先 isao.watanabe@trais.co.jp
言語 日本語

社内外を含め複数のイラストレータが所属しております。
ご希望のテイスト・作画内容に応じた最適なイラストレータを提案いたします。



Conceptual diagram of the supercritical geothermal power generation system targeted by JBBP

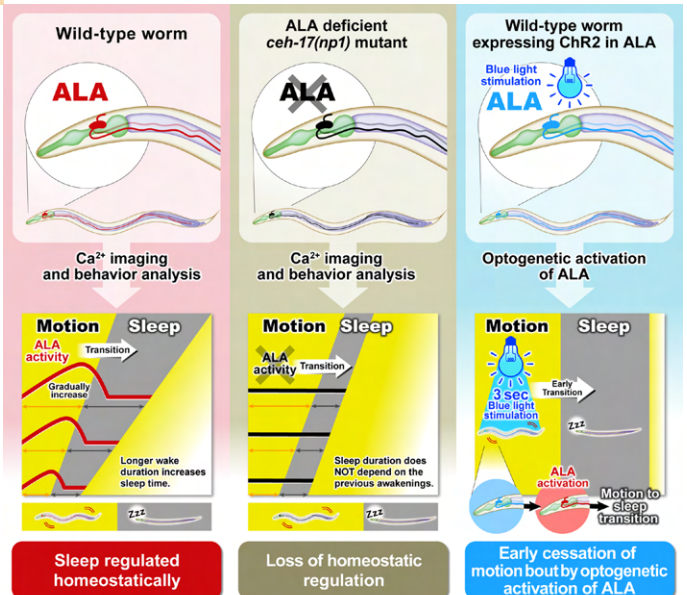
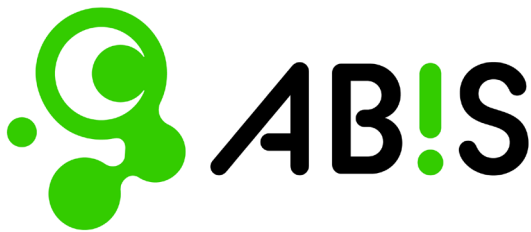
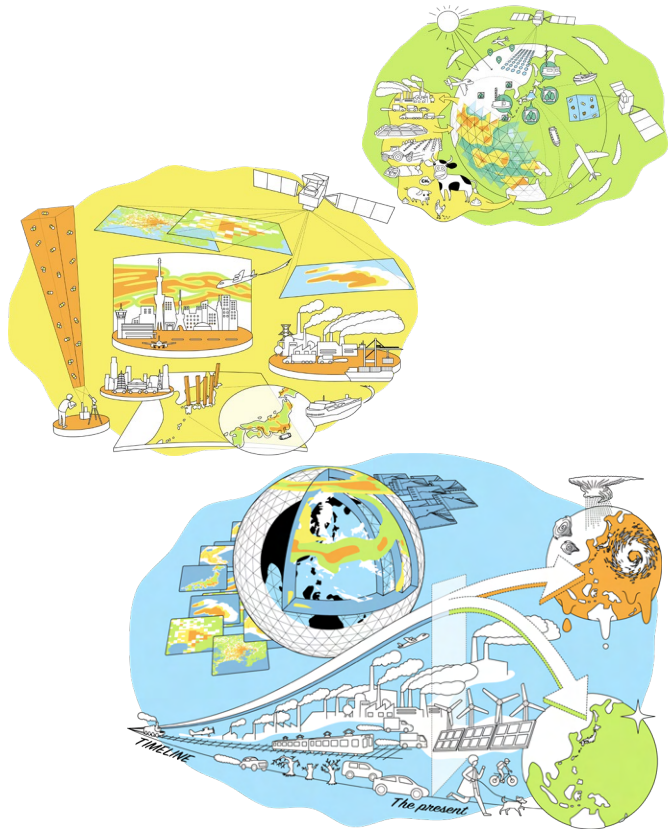
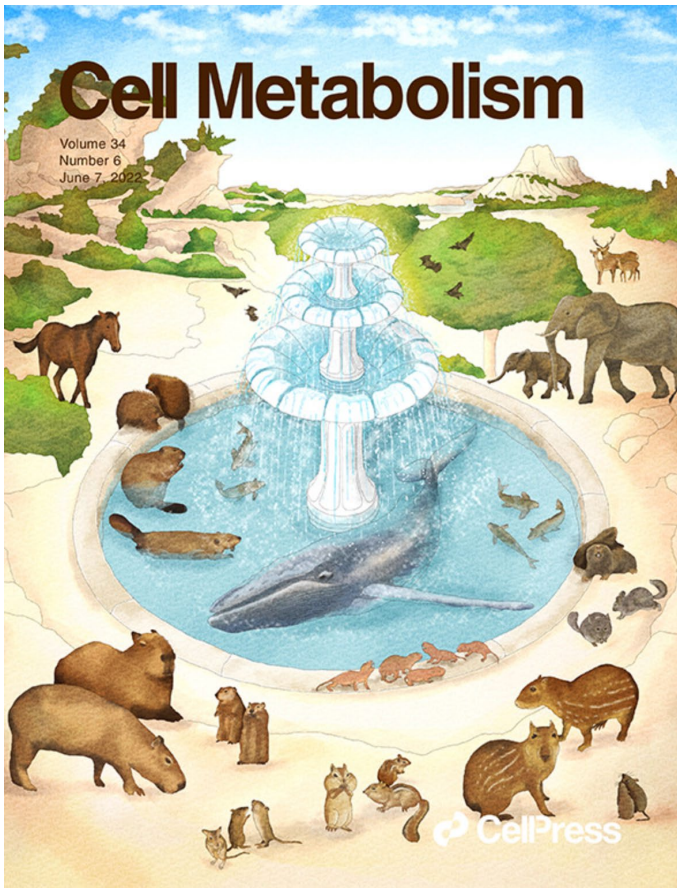
(イラスト：株式会社トライス)



グラフィカルアブストラクト、論文作図、研究イメージイラスト、ロゴマーク、カバーアートなど。

頭の中を見える化し、抽象化して描く。絵にすることで余分なものがそぎ落とされ、重要なポイントが浮かび上がる。そんなデザインを心がけています。

参考納期 要相談
 参考費用 要相談
 Website <https://www.stxst.com/>
 E mail nagasawa@stxst.com
 言語 日本語、英語



ALA encodes sleep pressure and contributes to sleep homeostasis



ならき ゆか
榎木 佑佳
 (株式会社スペースタイム)



生物学

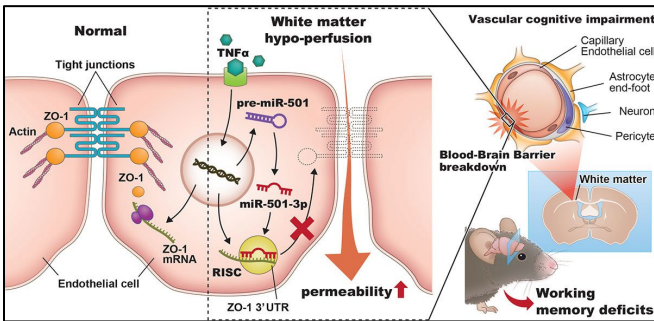
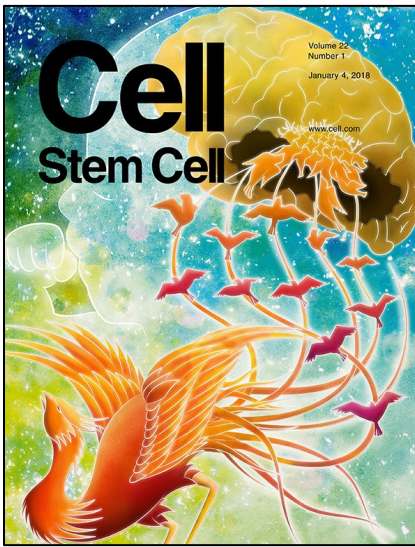
生命科学

医学

論文figure、Graphical Abstract、Cover Art、プレスリリース図、研究イメージ図など、様々な用途のイラストを制作しています。イラストとライティングのセットでのご依頼にも対応可能です。

北海道大学大学院 理学院単位取得退学。博士(理学)。2010年より株式会社スペースタイム勤務。著書に「科学史ひらめき図鑑」、「医学の歴史ひらめき図鑑」(いずれもナツメ社)。

参考納期 要相談
 参考費用 要相談
 Website <https://www.stxst.com/>
 E mail naraki@stxst.com
 言語 日本語、英語



新技術：既存技術では認識できない配列を切断するゲノム編集ツール

深海堆積物微生物 *Abyssococcus albus* の Cas9 遺伝子を単離

ガイド RNA

切断

DNA

特徴的な配列 **5'-NNACG-3'** の上流を認識・切断可能

動物・植物細胞で高効率にゲノム編集を実現

細菌叢のゲノムデータベースを利用し微生物ゲノムを分析

新規のゲノム編集ツールとして最適化

既存技術

腸内細菌 *Streptococcus pyogenes* 由来のゲノム編集ツール

ガイド RNA

切断

DNA

認識する配列の制限によりゲノム編集の適用が難しい場合がある

5'-NGG-3' の上流を認識・切断

権利者が多数



ワクチンの発明

ワクチンのはじめ
 死の病「天然痘」を予防するために

Before
 感染力が高く死亡率が高い天然痘が世界中で流行

1774年、エドワード・ジーンズは天然痘の感染を防ぐために牛乳を飲むことを勧めました。牛乳は天然痘の感染を防ぐ効果があることがわかりました。

1776年、ジェンズは牛乳を飲むことを勧めました。牛乳は天然痘の感染を防ぐ効果があることがわかりました。

1779年、ジェンズは牛乳を飲むことを勧めました。牛乳は天然痘の感染を防ぐ効果があることがわかりました。

After
 ワクチンのおかげで天然痘が根絶

ジェンズは1774年に「牛痘の感染を防ぐために牛乳を飲むことを勧めました。牛乳は天然痘の感染を防ぐ効果があることがわかりました。牛乳は天然痘の感染を防ぐ効果があることがわかりました。」

検証を重ね、人々が納得できる形で牛痘接種の有効性を示したのが



「見えないものを可視化する：Visualize invisible things」が私たちのテーマです。科学の奥深い世界を、最適な方法で、理解しやすく美しいビジュアルで表現します。30年以上にわたり、サイエンス・ディレクターとして活動し、それらの作品は、多くの研究プロジェクトや企業の、複雑な概念・研究成果を映像やイラストで伝えています。ビジュアルプロトタイピングによって、成果物のみならずそのプロセスが、研究者自身の情報整理や異業種とのコミュニケーションに大いに役立っています。表現の場も大きく変わろうとしている現在、私たちはアート分野にも参加し、分野を超えて多くの方々に伝わるご提案をさせていただいています。

参考納期 2週間～
参考費用 20万円～
Website <https://hydrocore.jp/>
連絡先 hello@hydrocore.jp
言語 日本語、英語

Members of Hydrocore



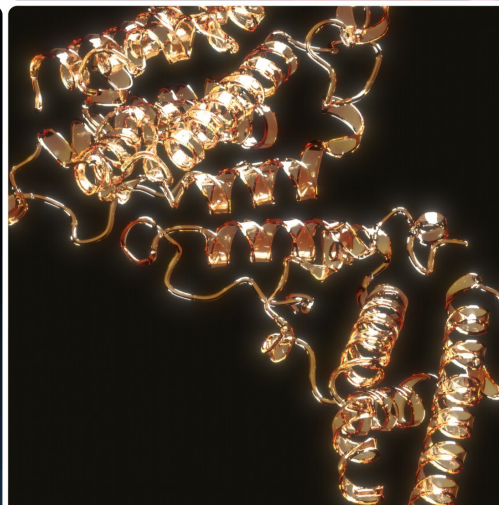
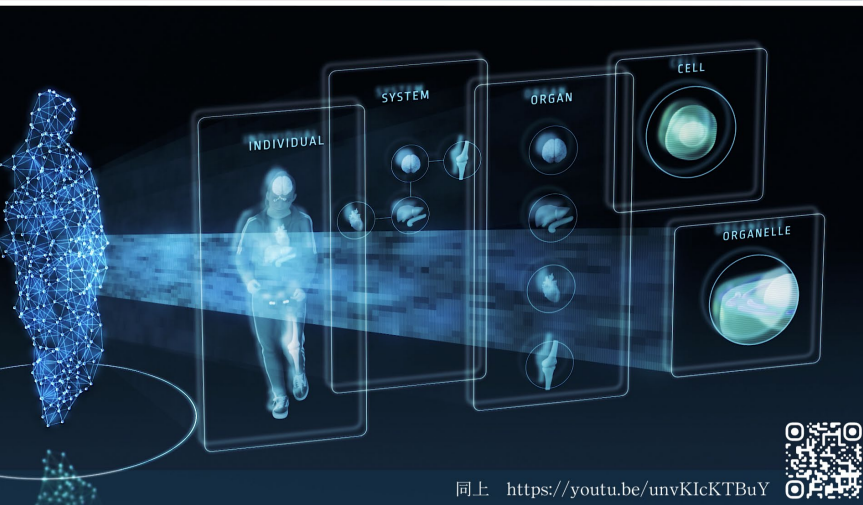
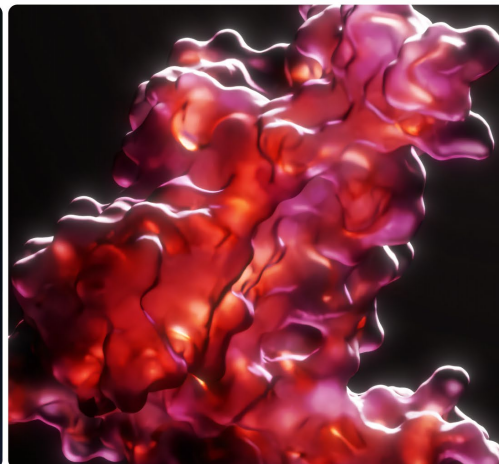
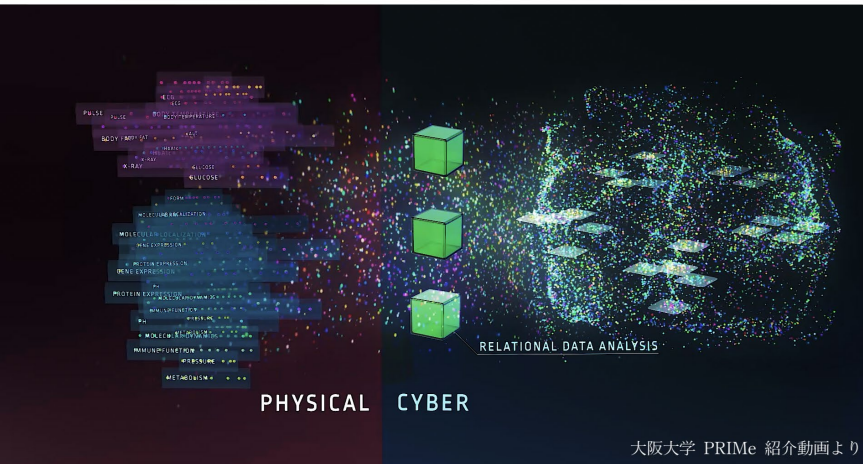
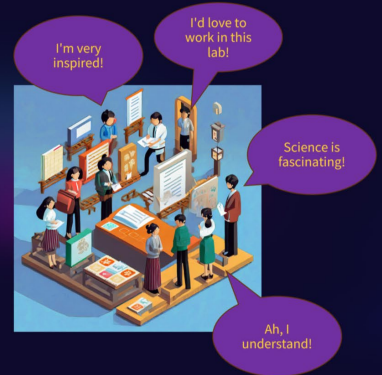
TANIAI Takashi
谷合 孝志



TAMAI Jun
玉井 潤



NAGATA Masami
永田 雅己





はしもと あすな

橋本 明日菜

(株式会社スペースタイム)



短期大学で映像制作（アニメーション）を専攻していました。卒業後、商業グラフィックデザイナーとして5年間勤務の後、株式会社スペースタイムに入社。現在はグラフィックデザイナーとして主にイベントポスターやパンフレット制作、映像制作に携わっています。雰囲気やトーン、絵柄をご希望に合わせ、もっとも適切なイラストとなるよう制作を行います。

参考納期 要相談
参考費用 要相談
Website <https://www.stxst.com/>
E m a i l hashimoto@stxst.com
言 語 日本語、英語





はやのん

理系漫画制作室/Science Manga Studio



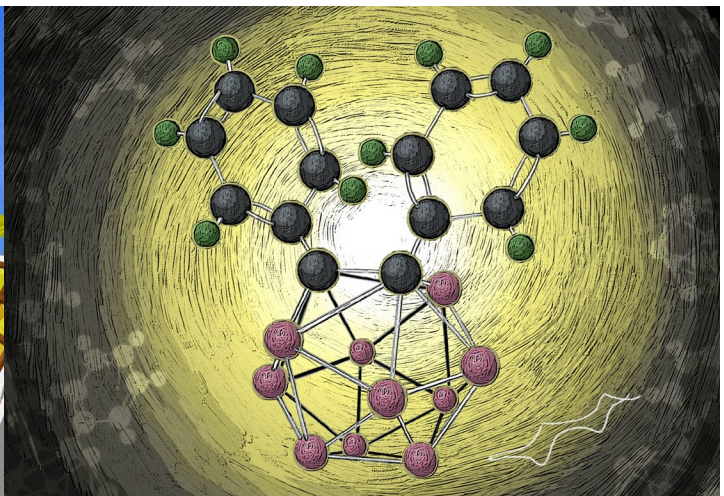
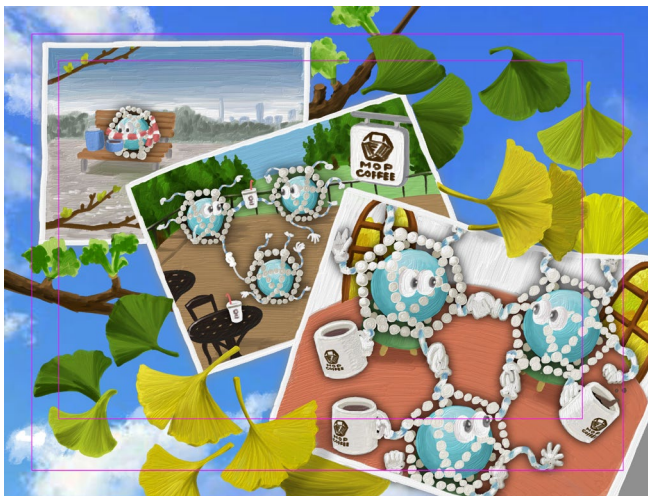
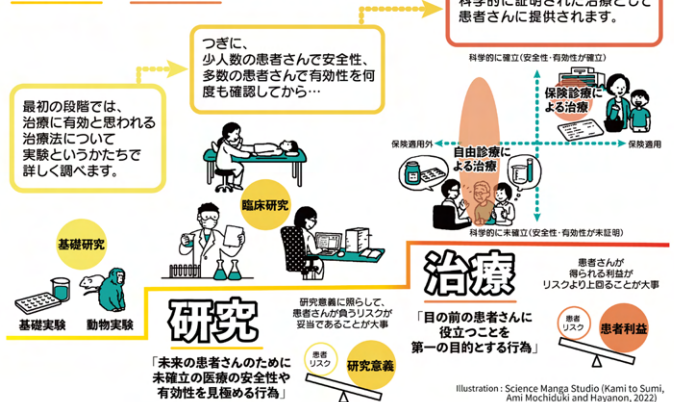
物理学・英語教育学出身、プロ漫画家歴30年超の理系漫画家「はやのん」とサイエンスイラストレーター達で制作運営している「理系漫画制作室/Science Manga Studio」です。国内外の出版社、大学、研究機関との長年のお取引実績があります。理系文系全分野の研究紹介漫画、論文誌表紙（カバーピクチャー）、論文・プレスリリース・申請書の図、グッズ制作、プロジェクト広報等、「研究広報」を応援するあらゆる業務の提供を行っています。ポリティカルコレクトネス対応、多言語対応、他文化圏の読者に向けた制作も得意としています。科研費等研究ご予算によるお支払い、請求書払い、クレジットカードでのお支払いも可能です。

参考納期 必要に応じ最速数時間～1か月
参考費用 プレスリリース図定額99,000円(1言語追加ごとに同額)。その他は数千円・数万円～数十万円。
Website sciencemanga.jp
S N S X(Twitter) :@rikei_hayanon
連絡先 info@hayanon.jp
言語 日本語、英語。その他言語は相談により対応

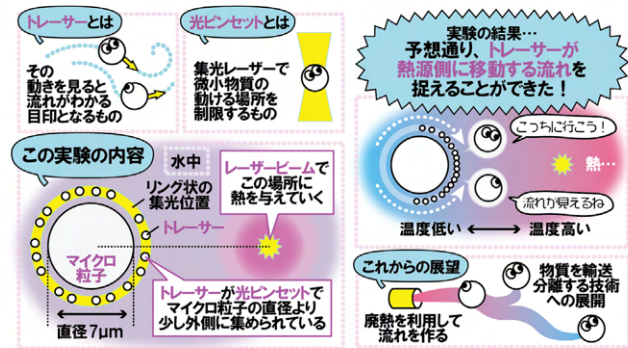


理系漫画制作室
作品紹介冊子
PDF
2023

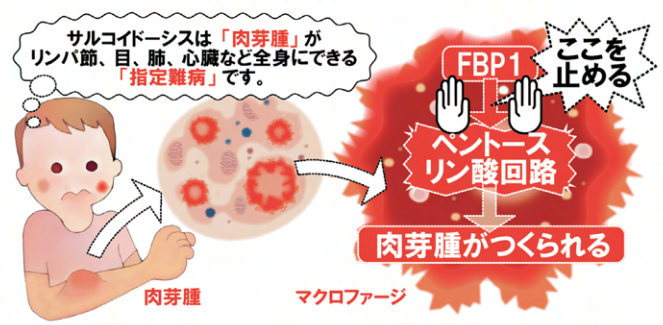
研究と治療はどう違うの？



流れを可視化するためのトレーサーを光ピンセットで集めてマイクロ粒子の表面近傍で起こっている熱浸透すべり流を捉えた！



にくげしめ 肉芽腫形成につながる代謝経路の発見… ペントースリン酸回路を阻害して肉芽腫生成を止める！



タイトル: Thermo-osmotic slip flows around a thymopore microparticle characterized by optical trapping of tracers (トレーサーの光ピンセットを用いた熱浸透すべり流の可視化)
 著者: Tetsuro Tsuji (京都大学), Satoshi Mei (京都大学), Satoshi Taguchi (京都大学)
 掲載誌: Physical Review Applied
 イラストレーション: Hayanon (Science Manga Studio, 2023)

タイトル: Activation of the pentose phosphate pathway in macrophages is crucial for granuloma formation in sarcoidosis (サルコイドーシスではマクロファージにおけるペントースリン酸回路の活性化が肉芽腫形成に重要である)
 著者: Satoshi Nakamizo, Yuki Sugiyama, Yoshinori Ishida, Yoko Ueki, Satoru Yonekura, Hideaki Tanizaki, Hiroshi Date, Akihiko Yoshizawa, Teruaki Murata, Kenji Minamoto, Mikako Katagiri, Seitaro Nomura, Issai Komuro, Seishi Ogawa, Saeko Nakajima, Naotomo Kambe, Gyohji Egawa, and Kenji Kabashima
 掲載誌: Journal of Clinical Investigation
 DOI: 10.1172/JCI171088
 イラストレーション: Hayanon (Science Manga Studio, 2023)



ぱり(parsely918)

(京都大学農学研究科 博士後期課程学生)

農学

生命科学

医学

普段ははやのん理系漫画制作室の制作スタッフとして活動しています。本業は農学研究科の学生として、メダカを使った研究をしています。生物系のデフォルメ的イラストを作るのが得意です。科学的な正確性を保持したまま、どこまでわかりやすく表現できるかを日々模索しています。
Adobe Photoshop, Illustratorを使っています。

S N S @parsely918 (Xアカウント)
連絡先 paris.parsely918@gmail.com
言語 日本語、英語

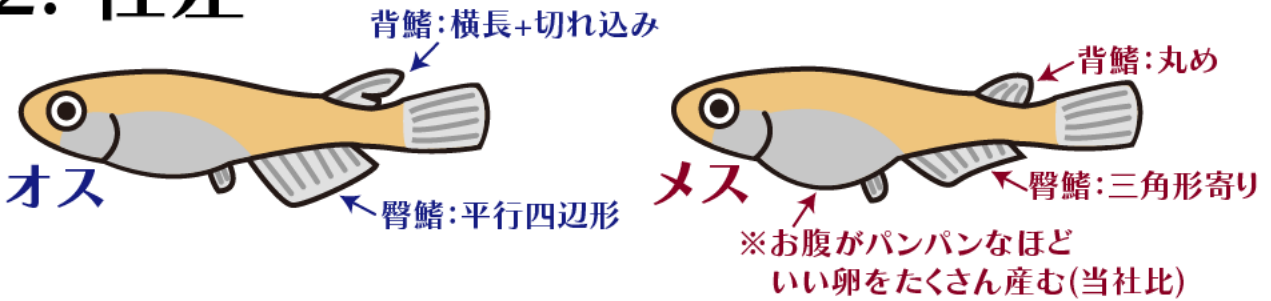
～メダカについてちょっとだけ 知ってもらおうコーナー～

1. 系統

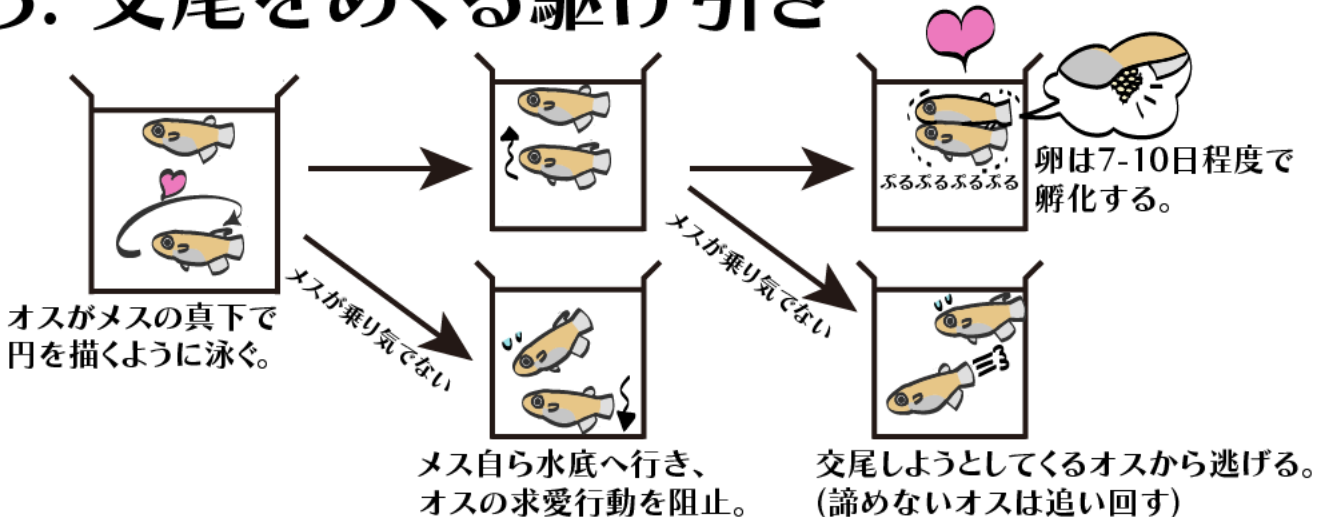
日本にいるのは…
キタノメダカ *Oryzias sakaizumii*
(福井あたりまでの北日本日本海側)
ミナミメダカ *Oryzias latipes*
(南日本日本海側+太平洋側+沖縄)

※京都、兵庫の日本海側では両種が交雑
(Sakaizumi, 1984.)

2. 性差



3. 交尾をめぐる駆け引き





ひるかわ はるこ
比留川 治子
(国立情報学研究所)

化学

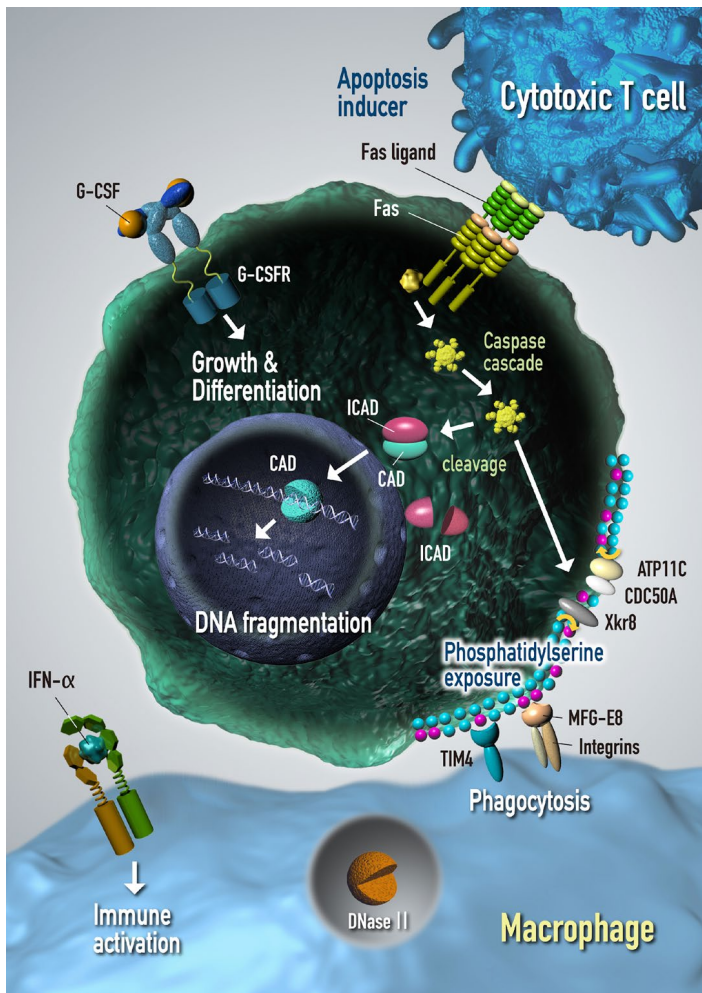
生命科学

医学

女子美術大学でメディアアートを、宇都宮大学と東京大学新領域創成科学研究科で生物学を専攻し、カリフォルニア州立大学モンテレーベイ校でサイエンスイラストレーションの準修士号を取得。名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所でサイエンスデザイナー/イラストレーターとして勤務後、現在は国立情報学研究所にて大学院生として研究をしながら、科学研究を視覚伝達デザインを通じて活性化するべく活動を行っています。

主に有機化学や分子生物学分野の研究を3DCGで表現するカバーピクチャ、グラフィカルアブストラクト等の制作を得意としています。主なイラスト掲載論文誌：Nature Chemistry、Angewandte Chemie、ACS Catalysis、ChemComm、JCTC、Chemical Science、Plant Physiology

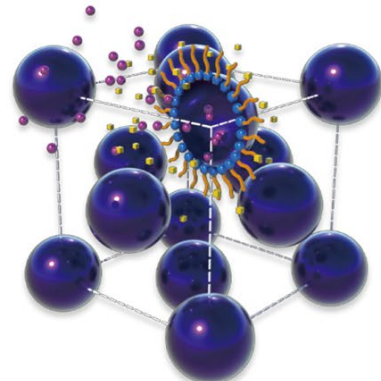
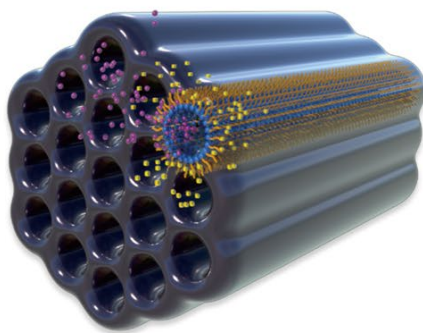
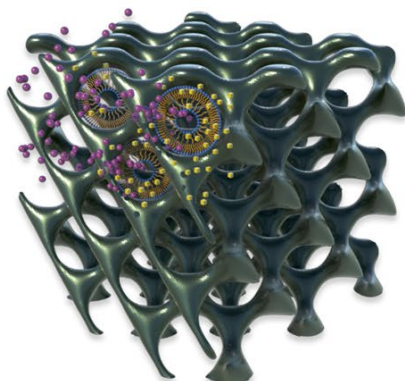
参考納期 2週間～1.5ヶ月程度
参考費用 5～10万円程度
Website haru.co
連絡先 harukohirukawa@gmail.com
言語 日本語、英語



(イラスト：大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 長田先生定年退官記念誌)



(イラスト：ACS Catalysis 2022, Volume 12, Issue 24)



(イラスト：株式会社ファルネックス 多機能・万能型の次世代DDS製剤『3D幾何学液晶プラットフォーム』)

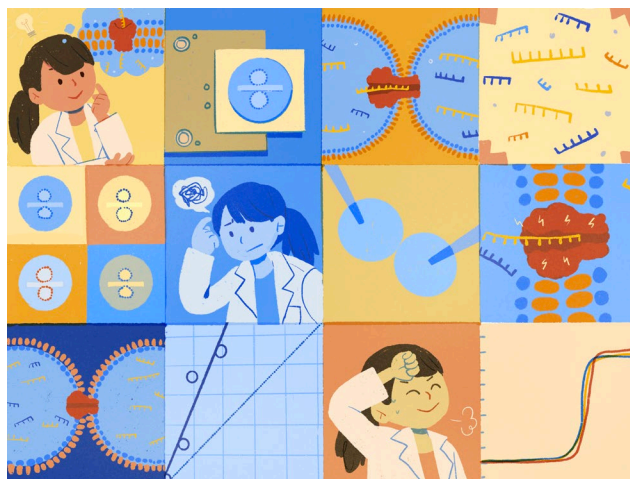


ほしの
星野ロビン



温かみとストーリー性のあるイラストが得意です。研究内容から物語を探り出しビジュアルで表現します。全国様々な大学の研究者の方からご依頼いただきプレスリリース、資料の挿絵、ロゴ、ポスターなどを作ってきました。

参考納期 14日～
 参考費用 5万円～
 Website <https://www.hoshinorobin.com/>
 SNS hoshinorobin (instagram)
 連絡先 hello@hoshinorobin.com
 言語 日本語、英語



"This is a really beautiful result!"
 -Anonymous reviewer

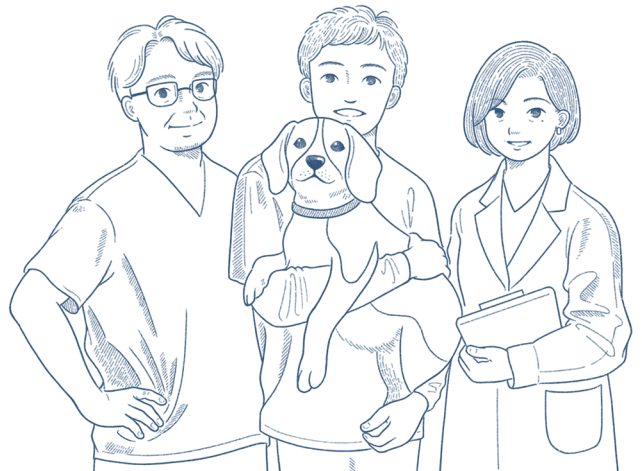


みやざき なつこ
宮崎 夏子
 (株式会社スペースタイム)



大学でコミュニケーションデザインを専攻したのち、IT・理工・医療系書籍のデザイナーを経て株式会社スペースタイムに入社。学術誌『Neuron』のカバーアート制作を手がけたほか、文字だけでは伝わりにくい情報やコンセプトのビジュアル化にも取り組む。さまざまな対象者や科学の領域にとどまらないテーマに合わせたイラストタッチの描き分けにも対応している。

参考納期 要相談
 参考費用 要相談
 Website <https://www.stxst.com/>
 E-mail miyazaki@stxst.com
 言語 日本語、英語





パンチの効いたカバー・ピクチャーなどのイラストだけでなく、研究現場に精通した代表のもと、7名の精鋭により力強く幅広く、研究広報をサポートします。まずはお試しでカットイラスト1点からお気軽にご相談ください。
<広報内容> カバー・ピクチャー・グラフィカル・アブストラクト (3DCGや日本画風などあらゆるタッチに対応)、広報誌、ポスター、ロゴマーク、webサイト、サイエンスライティング記事、ビジョン策定 など

連絡先 <paradise@yap-net.co.jp>
<06-6445-7317>
SNS <X <https://twitter.com/yap0512>>
言語 日本語、英語
Website <https://yap-paradise.com/>



研究広報メツチャ抄ル之図



獣医師でメディカルクリエイターであるTokcoが率いるメディカルコンテンツを専門とする制作会社。サージカルイラストレーションの分野で豊富な経験を持つベテランが若手クリエイターの教育にも注力している。日本では請負先の少ないグラフィカルアブストラクトや、医学3D、表紙用にデザインされたダイナミックなサイエンスイラストなどソリューションは幅広い。自分だけの医学イラストを自分の手で作成することができるMEDITORというプラットフォームも運営しており、必要な時に好きなだけ画像として出力することができる。

MEDITORの会員向けに1枚3,000円〜と安価で、サービス内容によって事前に価格と納期がわかるカスタムオーダーのサービスも提供している。

参考納期 3週間〜

参考費用 線画1万〜/線画ブラシ2.5万〜/フルブラシ4万〜
 制作費は制作内容によって異なりますので、上記は最低価格となります。論文用のイラストは利用許諾のライセンスとなりますので費用は制作+50%税別となります。その場合、ご自身の講演や教育目的で自由にご利用いただけます。

Website <https://laiman.co.jp/>
<https://meditor3d.com/>

S N S X@Laiman001
 Instagram@Laiman001

連絡先 info@laiman.co.jp
 言語 日本語、英語

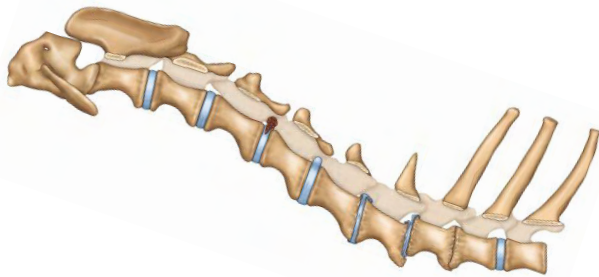


イラスト: 櫻井晃辰

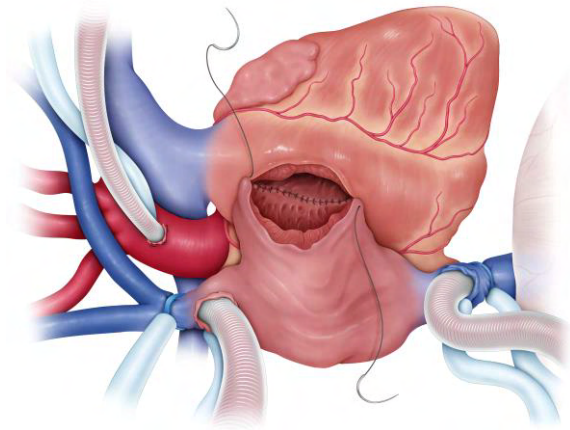


イラスト: 大桑あずさ

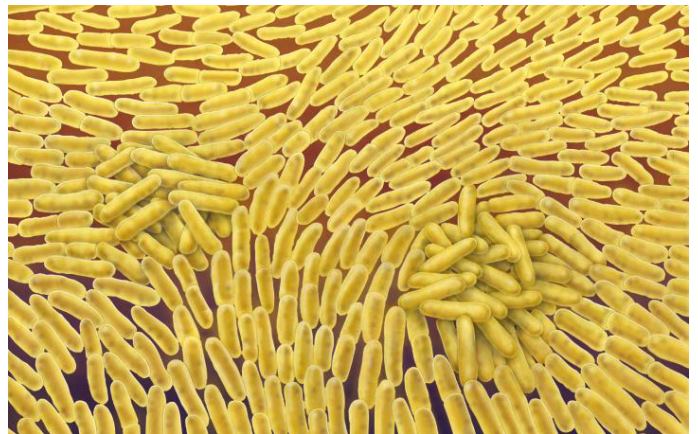


イラスト: 奈良島知行

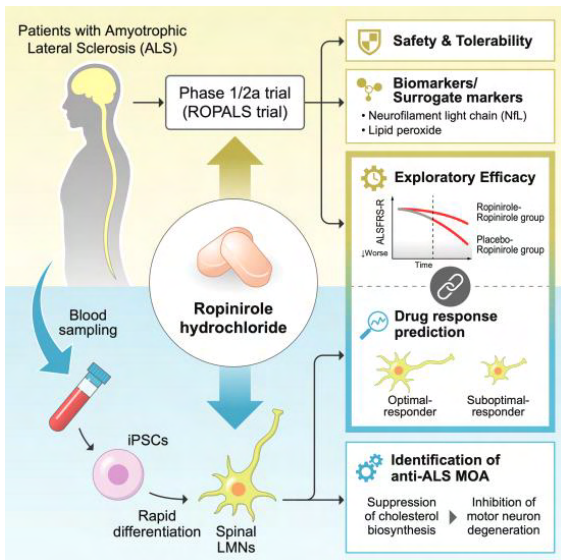


イラスト: 高柳航

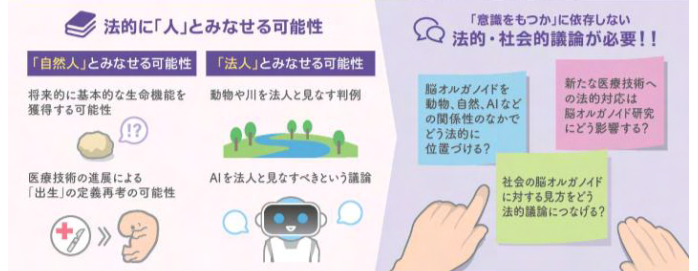


イラスト: 有賀雅奈

おわりに

本冊子の初版は2019年に出版され、イラストを作成したい意志を持つ研究者と科学イラストレーターを繋ぐツールとして多くの反響をいただきました。初版では科学イラストの概要やイラストレーターの紹介を中心に掲載しましたが、第二版ではより詳細な情報を提供することを意識し作成しました。特に「イラスト制作の流れ」のページ (p.5) をしおり代わりに各項目のポイントを明瞭に記載する点においては、読み手にとってわかりやすく実行に移せることを目指し、何度も書き直し校了に至りました。本冊子を手にした研究者や広報・研究支援担当者がイラスト制作をスムーズに進めるための一冊となれば幸いです。

本冊子後半部分のイラストレーターリストは、初版から変更を加え1ページ全体を各イラストレーターの方が自由にデザインできるようにしました。よりイラストレーターの個性が表れる構成を意識したことで、研究者や広報・研究支援担当者が科学イラストを作成するにあたりその目的に適したイラストレーターを選べる一助となるのではと期待しております。科学イラストなどの視覚的要素を加えた研究発信は、今後ますます重要になってくると思われます。本冊子をきっかけに日本の科学イラスト界が活気づけば、これほど嬉しいことはありません。

なお、本冊子は下記のASHBi Research Acceleration Unit メンバーにより作成されました。

井上 寛美

千綿 千恵子

清水 智樹 (現・自然科学研究機構 生命創成探究センター)

小川 正

最後になりますが、冊子作成にあたりご協力・ご助言いただいたイラストレーターの皆様、研究者の皆様、様々な観点から意見をくださったASHBi Research Acceleration Unitの信田誠氏、Goulas Spyros氏、医生物学研究所 (LiMe) の澄田裕美氏、そして本冊子を手に取り最後まで読んでくださった皆様に深く御礼申し上げます。



図版の出典情報

表紙 Illustration:株式会社トライス

#1 Illustration: 星野ロビン

#2 Illustration: Hiroko Uchida

Yoshikawa T, et al. Tertiary Lymphoid Tissues Are Microenvironments with Intensive Interactions between Immune Cells and Proinflammatory Parenchymal Cells in Aged Kidneys. *J Am Soc Nephrol*. 2023.
doi: 10.1681/ASN.0000000000000202
URL: <https://www.eurekalert.org/news-releases/1000184>

#3 Credit: ASHBi

Sasaki-Honda M, Akatsuka K, Sawai T. Is epigenome editing non-inheritable? Implications for ethics and the regulation of human applications. *Stem Cell Reports*. 18: 2005-2009, 2023
doi: 10.1016/j.stemcr.2023.10.003.
URL: <https://www.eurekalert.org/news-releases/1007651>

#4 Provided by: C.Alev

Yamanaka Y, et al. Reconstituting human somitogenesis in vitro. *Nature*, 614: 509-520, 2023. doi: 10.1038/s41586-022-05649-2.
URL: <https://www.eurekalert.org/newsreleases/975082>

#5 Credit: Current Opinion in Genetics & Development;

Illustration: 株式会社レーマン
出典 : Hamidi S and Alev C. In vitro models of pre- and post-gastrulation embryonic development. *Curr Opin Genet Dev*. 77:101985, 2022.
doi: 10.1016/j.gde.2022.101985

#6 Credit : T. Ichikawa

出典 : Ichikawa T. et al. An ex vivo system to study cellular dynamics underlying mouse peri-implantation development. *Dev Cell*. 57: 373-386, 2022.
doi: 10.1016/j.devcel.2021.12.023.

#7 Illustration: Hiroko Uchida

#8 Illustration: Kanon Tanaka

#9 Credit: ASHBi

#10 Credit: ASHBi

#11 Illustration : Hiroko Uchida; Provided by : 京都大学高等研究院ヒト生物学高等研究拠点 (ASHBi) 井上研究室 (Bourqueグループ)
https://ashbi.kyoto-u.ac.jp/lab-sites/inoue_lab/

#12 Illustration: Legado Cajal. Instituto Cajal (CSIC). Madrid/
Provided by: 京都大学高等研究院ヒト生物学高等研究拠点 (ASHBi) 雨森グループ
<https://ashbi.kyoto-u.ac.jp/lab-sites/amemori/>

#13 Illustration: 森彩子; Provided by: 京都大学高等研究院ヒト生物学高等研究拠点 (ASHBi) 山本玲グループ
<https://ashbi.kyoto-u.ac.jp/lab-sites/ryo-yamamoto/>

#14 Illustration:理系漫画制作室 (2024)

#15 Illustration: 株式会社トライス

Sasaki R, et al. Balancing Risk-Return Decisions by Manipulating the Mesofrontal Circuits in Primates. *Science*, 2024.
doi:10.1126/science.adj6645 .
URL: https://ashbi.kyoto-u.ac.jp/news/20240105_research-result_tadashi-isa/

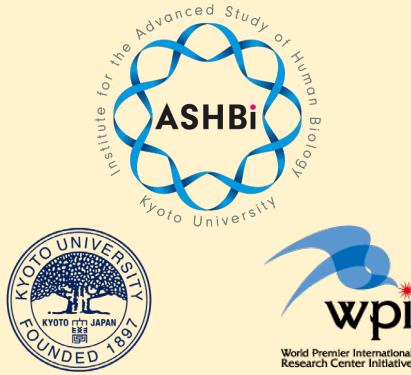
#16 Provided by: M. Fujita; Illustration: 株式会社ビクト

Fujita M, Hatta T, Ide K. Current status of cell-based interventions in Japan. *Cell Stem Cell*. 29: 1294-1297, 2022.
doi: 10.1016/j.stem.2022.08.003.

#17 Illustration: 理系漫画制作室

Fujita M, Hatta T, Ide K. Current status of cell-based interventions in Japan. *Cell Stem Cell*. 29: 1294-1297, 2022.
doi: 10.1016/j.stem.2022.08.003.
https://ashbi.kyoto-u.ac.jp/ja/news/20220902_research-result_fujita/

プロに依頼する
科学イラストの
ススメ
Visualize Your Science!



<本冊子制作についてのお問い合わせ>

京都大学高等研究院ヒト生物学高等研究拠点 (WPI-ASHBi)

リサーチアクセラレーションユニット

TEL : 075-753-9882

Email : ASHBi-info [at] mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

本パンフレットに掲載されているイラスト等の著作権は、著作者（イラストレーター等）に帰属します。

無断で複写・複製・転載・改変するなど著作権を侵害する行為は法律により禁じられています。

利用を希望する場合にはWPI-ASHBiまでご相談ください。